

験  
験

協会  
.com



### 大阪校 OSAKA

〒530-0001  
大阪府大阪市北区梅田 1-3-1  
大阪駅前第1ビル 9F  
TEL 06-4797-3516  
FAX 06-4797-3517



2022

歯科衛生士国家試験

全国総合模擬試験




解答・解説・要点集

(臨床系)



日

 日本医歯薬研修協会

医歯薬で  
確かな  
合格力を

# 歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験

D e n t a l H y g i e n i s t

解答・解説・  
要点集(臨床系)

■平成29年版出題基準による出題科目一覧■

問題番号	科目
1	予備問題
2	
3	一、人体(歯・口腔を除く)の構造と機能
4	
5	二、歯・口腔の構造と機能
6	
7	
8	
9	
10	
11	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	五、歯科衛生士概論
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	六、臨床歯科医学
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	七、歯科予防処置論
69	
70	
71	
72	
73	

問題番号	科目
74	
75	
76	七、歯科予防処置論
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	八、歯科保健指導論
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	九、歯科診療補助論
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
予備問題	
1	
2	
3	一、人体(歯・口腔を除く)の構造と機能
4	
5	二、歯・口腔の構造と機能
6	
7	
8	
9	
10	
11	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	五、歯科衛生士概論
33	
34	
35	六、臨床歯科医学
36	

問題番号	科目
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	六、臨床歯科医学
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	七、歯科予防処置論
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	八、歯科保健指導論
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	九、歯科診療補助論
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	

■解答一覧表■

問題	正解	問題	正解
1	a	56	d
2	b	57	d
3	a	58	a, c
4	b	59	b
5	b	60	c
6	c	61	a
7	c	62	d
8	c	63	b, c
9	c	64	a, c
10	c	65	b, c
11	d	66	a, d
12	a	67	b, d
13	c	68	d
14	c	69	a, c
15	d	70	d
16	c	71	a, c
17	a	72	b, c
18	c	73	b
19	b, d	74	d
20	a, d	75	b, d
21	c	76	b
22	c, d	77	b, d
23	b	78	c
24	b	79	c
25	d	80	a
26	a	81	d
27	c, d	82	c, d
28	c, d	83	c
29	a, b	84	d
30	c	85	b, c
31	d	86	a, c
32	a, c	87	b, d
33	d	88	b
34	a, b	89	d
35	d	90	a, c
36	a, d	91	b, d
37	c, d	92	c, d
38	b, c	93	c
39	a, b	94	a, d
40	b, d	95	c, d
41	c, d	96	c, d
42	c	97	a, d
43	b	98	b, d
44	a, d	99	a
45	a	100	a
46	a, b	101	a
47	b	102	b
48	b	103	a
49	c, d	104	c, d
50	b	105	b
51	a, d	106	a
52	b, d	107	c
53	b	108	a, b
54	d	109	a
55	c	110	b

問題	正解	問題	正解
1	c	56	d
2	b	57	d
3	a	58	a, d
4	c	59	b
5	a	60	a, d
6	b	61	a, c
7	b	62	b
8	b	63	b, c
9	d	64	d
10	d	65	a
11	c	66	a, d
12	d	67	b
13	d	68	a, d
14	a	69	c
15	c	70	a, d
16	b	71	a, b
17	a, c	72	a, c
18	b, c	73	d
19	c	74	d
20	c, d	75	a
21	b	76	d
22	a, d	77	d
23	a	78	a, d
24	b, d	79	a, c
25	d	80	a
26	d	81	c
27	c, d	82	a, b
28	c	83	a, c
29	c, d	84	a, b
30	a, b	85	c
31	b	86	b
32	a	87	b, d
33	a, d	88	a
34	a	89	a, b
35	c, d	90	b, c
36	b	91	a, d
37	c	92	a, d
38	b	93	b, d
39	b	94	c, d
40	a	95	c, d
41	c	96	a, b
42	b, d	97	d
43	b, c	98	c
44	b	99	a, c
45	a	100	a, c
46	a	101	a, c
47	c, d	102	d
48	b, d	103	b
49	a, b	104	a
50	c	105	a, c
51	d	106	c
52	a	107	b
53	a	108	b, c
54	a, c	109	b
55	a	110	d

## 歯科衛生士国家試験について

### ◆ 歯科衛生士国家試験問題

#### (1) 出題方法等

出題総数については現行の数を維持し、領域ごとに出題数を規定することによって問題の質を担保する観点から現行の220問とする。

#### (2) 出題形式

「4肢択1問題」「4肢択2問題」のいずれかで出題し、その割合については試験委員会において、試験ごとに合格率の安定性を保つ観点から、問題全体の難易度や内容を勘案して決定する。

#### (3) 状況設定問題

臨床に関する出題においては状況設定問題の出題についても一定の出題数を維持するよう配慮する。

### ◆ 出題基準

時代の要請に応える歯科衛生士を確保する観点から、下記の出題についてさらなる充実を図り、資質向上を促進していく必要がある。

- (1) 高齢化等による疾病構造の変化に伴う歯科診療の変化に関連して、歯科衛生士として必要な高齢者や在宅・施設介護や病棟での対応に関する出題
- (2) 地域包括ケアシステムの推進や多職種連携等に関する出題
- (3) 口腔機能の維持向上や摂食機能障害への対応に関する出題
- (4) 医療安全や職業倫理等に関する出題

その他、保健医療介護の領域で歯科衛生士として必要不可欠な内容について出題する。

第27回 歯科衛生士国家試験 合格状況

受験者数			新 卒			既 卒		
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
7,374	7,087	96.1%	6,964	6,825	98.0%	410	262	63.9%
不合格者数			不合格者数			不合格者数		
267			139			149		

第26回 歯科衛生士国家試験 合格状況

受験者数			新 卒			既 卒		
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
7,218	6,737	93.3%	6,979	6,646	95.3%	239	89	37.2%
不合格者数			不合格者数			不合格者数		
481			331			150		

第25回 歯科衛生士国家試験 合格状況

受験者数			新 卒			既 卒		
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
7,233	6,944	96.0%	6,997	6,812	97.4%	236	132	55.9%
不合格者数			不合格者数			不合格者数		
289			185			104		

歯科衛生士国家試験合格者数推移

開催回(年)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第27回(平成30年)	7,374	7,087	96.1
第26回(平成29年)	7,218	6,737	93.3
第25回(平成28年)	7,233	6,944	96.0
第24回(平成27年)	8,753	8,475	96.9
第23回(平成26年)	8,685	8,492	97.1
第22回(平成25年)	8,064	5,832	96.2
第21回(平成24年)	3,661	3,507	95.8
第20回(平成23年)	5,788	5,585	96.5
第19回(平成22年)	5,929	5,761	97.2
第18回(平成21年)	8,038	5,757	95.3
第17回(平成20年)	6,361	6,103	96.0

[問題 1] 骨格筋が存在するのはどれか。

- a 舌
- b 胃
- c 心臓
- d 十二指腸

▶解剖学

選択肢考察

- a 筋は横紋筋と平滑筋に大別される。横紋筋は、さらに心筋と骨格筋に分類される。平滑筋は心臓や食道、横隔膜を除いた内臓や血管に存在する。平滑筋は**不随意筋**である。舌には**骨格筋**が存在し、随意筋である。
- × b 胃には**平滑筋**が存在する。
- × c 心臓の筋は**心筋**で、**不随意筋**である。
- × d 十二指腸には**平滑筋**が存在する。

正解 a

📖 要点集 281:P18

[問題 2] 辺縁隆線にみられるのはどれか。

- a 臼歯結節
- b 介在結節
- c カラベリー結節
- d プロトスタイリッド

▶解剖学

選択肢考察

- × a 一般に乳歯は近心頬側歯頸部が膨隆しており、これを歯帯という。上下第一乳臼歯では特に著明であり、**臼歯結節**という。
- b 介在結節は、**上顎第一小臼歯**の近心**辺縁隆線**上に好発する小結節である。
- × c カラベリー結節は、**上顎大白歯**(特に第一大臼歯)の**近心舌側咬頭**直下の舌側面にみられることがある過剰結節である。
- × d プロトスタイリッドは**下顎大白歯**(特に第一大臼歯)の**近心頬側咬頭**直下の頬側面にみられることがある過剰結節である。

正解 b

[問題 3] 歯の組織像(別冊午前 No. 1)を別に示す。

- 矢印で示す構造はどれか。
- a レッチウス線条
  - b オーエンの外形線
  - c シュレーゲル線条
  - d アンドレーゼン線条

▶解剖学

選択肢考察

- a レッチウス線条は**エナメル質**にみられる石灰化不良線で、約6日～10日おきに**横紋**が強調されたものである。
- × b オーエンの外形線は**象牙質**にみられる石灰化不良線である。
- × c シュレーゲル線条はエナメル小柱の横断帯と縦断帯が縞模様を呈するものである。
- × d アンドレーゼン線条は**象牙質**にみられる構造でエブネル線が5～6本おきに強調されたものである。

No. 1



正解 a

📖 要点集 281:P13

[問題 4] 3D-CT画像(別冊午前 No. 2)を別に示す。

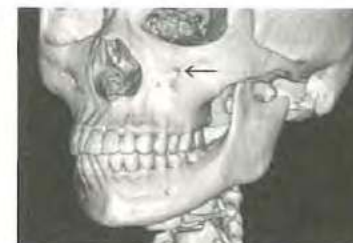
- 矢印で示す孔から出る神経の役割はどれか。
- a 上唇の運動
  - b 上唇の痛覚
  - c 上顎前歯の痛覚
  - d 耳下腺唾液の分泌

▶解剖学

選択肢考察

- × a 上唇の運動は上唇挙筋によって行われ、**顔面神経**支配である。
- b 写真矢印は**眼窩下孔**である。眼窩下孔は**上顎神経**の枝である**眼窩下神経**が通過し、**顔面上部の皮膚や粘膜の知覚**を支配する。
- × c 上顎前歯の痛覚は上顎神経の前上歯槽枝が支配するが、眼窩下孔から出る前に分かれる。
- × d 耳下腺唾液の分泌は**舌咽神経**が支配する。

No. 2



正解 b

📖 要点集 281:P3

[問題 5] 浮腫の原因で正しいのはどれか。

- a リンパ管の拡張
- b 血管透過性の亢進
- c 毛細血管内圧の低下
- d 血漿膠質浸透圧の増加

▶生理学

選択肢考察

○b 浮腫(水腫)は組織間質液の増加によって生じるもので、以下の要因がある。

- ① 毛細血管透過性の亢進：炎症、アレルギー反応など
- ② 毛細血管内圧(静水圧)の上昇：血液量増加(腎不全)
- ③ 血漿膠質浸透圧の低下：低アルブミン血症など
- ④ 間質液(組織液)の膠質浸透圧上昇
- ⑤ リンパ流の停滞、減少、リンパ管の閉塞：癌のリンパ節転移、放射線障害など

正解 b

📖 要点集 281:P45

[問題 6] 唾液中の消化酵素によって生成されるのはどれか。

- a グルコース
- b スクロース
- c マルトース
- d フルクトース

▶生理学

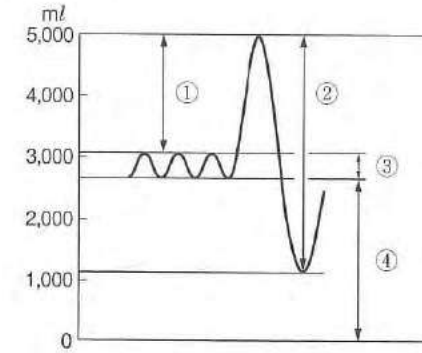
選択肢考察

○c 唾液に含まれる消化酵素はアミラーゼで、デンプン(アミロース、アミロペクチン)を分解し、マルトースを生成する。

正解 c

📖 要点集 281:P50

[問題 7] 肺気量の区分を図に示す。



1 回換気量はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

選択肢考察

- × a ①は1回換気量(③)よりもさらに吸い込むことのできる量で、予備吸気量という。
- × b 最大吸気から呼出可能な最大空気量(1回換気量+予備吸気量+予備呼気量)を肺活量(②)という。
- c 安静時、1回の呼吸周期ごとに肺に出入りする空気量を1回換気量(③)という。
- × d ④は機能的残気量といい、安静時呼気で肺内に残る空気量である。

正解 c

📖 要点集 281:P23

[問題 8] ヒスタミンを産生するのはどれか。

- a 単球
- b 好中球
- c 好塩基球
- d リンパ球

▶生理学

選択肢考察

- × a 単球は無顆粒球に分類される白血球である。血流からさまざまな組織に移行し、マクロファージに分化する。マクロファージは病原因子や壊死組織などの貪食作用を示す。
- × b 好中球は顆粒球に分類される白血球である。顆粒球のほとんどは好中球であり、病原因子に向かって進む遊走能と、それを捕食する貪食作用をもつ。
- c 好塩基球は顆粒球に分類される白血球である。即時型アレルギー反応を起こすヒスタミンを顆粒から放出する。
- × d リンパ球は無顆粒球に分類される白血球である。骨髄でつくられたリンパ球の一部は胸腺で成熟してT細胞となり細胞性免疫という役割を、胸腺を通らなかったリンパ球はB細胞となり液性免疫という役割をはたす。

正解 c

📖 要点集 281:P44

[問題 9] 前がん病変はどれか。

- a 舌 癌
- b 天疱瘡
- c 白板症
- d ラヌーラ

▶病理学

選択肢考察

- × a 舌癌は口腔に発生する悪性腫瘍で最も多く、扁平上皮癌に分類される。すでに癌化しているため、前がん病変ではない。
- × b 天疱瘡は自己免疫疾患であり、前がん病変ではない。
- c 前がん病変とは、現在は癌ではないが、将来的に癌が高頻度に発生する可能性が高い病変をいう。口腔扁平上皮癌における白板症、子宮頸癌での上皮異形成症などがある。その他、口腔粘膜にみられる代表的な前がん病変には、乳頭腫や紅板症などがある。
- × d ラヌーラ(ガマ腫)は、口底部に発生する粘液嚢胞であり、前がん病変ではない。

正 解 c

[問題 10] 甲状腺機能亢進を示すのはどれか。

- a くる病
- b ハンセン病
- c バセドウ病
- d リガフェーデ病

▶病理学

選択肢考察

- × a くる病はビタミンD欠乏によりみられる骨形成不全である。
- × b ハンセン病は、瘤(らい)菌による感染症で、肉芽腫性炎の1つである。
- c バセドウ病は甲状腺疾患の1つで、甲状腺機能亢進症を起こす。機能亢進によって甲状腺ホルモンが必要以上に産生され、心拍数の増加と血圧上昇、大量発汗と体のほてり、手の振戦、神経過敏と不安、睡眠障害、食欲が亢進するにもかかわらず体重が減少する、などの症状を呈する。
- × d リガフェーデ病は、先天歯により生じる舌下部の潰瘍である。

正 解 c

[問題 11] 細胞性免疫はどれか。

- a I型アレルギー
- b II型アレルギー
- c III型アレルギー
- d IV型アレルギー

▶微生物学

選択肢考察

- d 細胞性免疫は、Tリンパ球による免疫応答で、IV型アレルギーが該当する。

正 解 d

📖 要点集 281:P28

[問題 12] リンパ性器官はどれか。

- a 扁桃
- b 脾臓
- c 腎臓
- d 下垂体

▶微生物学

選択肢考察

- a リンパ性器官はリンパ組織を主な構成要素とする器官の総称で、扁桃、虫垂、リンパ節、胸腺、脾臓などである。主に免疫機構において抗原提示の場として機能する。扁桃はリンパ性器官である。
- × b 脾臓は消化器系に属する消化腺である。
- × c 腎臓は泌尿器系の中樞臓器である。
- × d 下垂体は脳の一部であるが、内分泌器官の1つでもある。

正 解 a

📖 要点集 281:P28

[問題 13] 壊死性潰瘍性菌周炎の主な原因菌はどれか。

- a *Actinomyces viscosus*
- b *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*
- c *Fusobacterium nucleatum*
- d *Treponema denticola*

▶微生物学

選択肢考察

- × a *Actinomyces viscosus* は通性嫌気性グラム陽性桿菌で、線毛を有する。根面う蝕や深部象牙質う蝕中に多く検出される。
- × b *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は通性嫌気性グラム陰性桿菌で、白血球毒性のある外毒素であるロイコトキシンを産生する。侵襲性菌周炎に関与する細菌である。
- c *Fusobacterium nucleatum* は偏性嫌気性グラム陰性桿菌で、壊死性潰瘍性菌周疾患に関与する細菌である。
- × d *Treponema denticola* は偏性嫌気性で、運動性を持つスピロヘータ属に属する。*Porphyromonas gingivalis*、*Tannerella Forsythia* とともに Red Complex に分類される3菌種の1つであり、重度菌周炎に関与している。

正 解 c

📖 要点集 281:P42

〔問題 14〕 アシクロビルが奏効するのはどれか。

- a 麻疹
- b B型肝炎
- c 口唇ヘルペス
- d ヘルパンギーナ

▶薬理学

選択肢考察

- c アシクロビルは、ヘルペスウイルスの増殖を抑制する。単純疱疹(口唇ヘルペス)や帯状疱疹、水痘の治療に用いる。ウイルス感染細胞内で活性化し、ウイルス DNA の複製を阻害する。

正解 c

📖 要点集 281:P65

〔問題 15〕 アミノグリコシド系抗菌薬の副作用はどれか。

- a 痙攣
- b 歯の着色
- c 再生不良性貧血
- d 第Ⅷ脳神経障害

▶薬理学

選択肢考察

- ×a 痙攣はニューキノロン系抗菌薬でみられる。
- ×b 歯の着色はテトラサイクリン系抗菌薬でみられる。
- ×c 再生不良性貧血はクロラムフェニコールでみられる。
- d アミノグリコシド系抗菌薬は第Ⅷ脳神経障害が起これ、難聴、めまいなどが現れることがある。

正解 d

📖 要点集 281:P65

〔問題 16〕 定型発達の小児が一人で歯磨きをするようになるのはどれか。

- a 1~2歳
- b 2~3歳
- c 3~4歳
- d 4~5歳

▶口腔衛生学

選択肢考察

- c 日本小児保健協会によると、一人で歯磨きをするのは3歳頃からで、4歳3か月頃には小児の75%が一人で歯磨きをすると記載されている。

正解 c

〔問題 17〕 歯口清掃について誤っているのはどれか。

- a 歯磨剤の使用は人工的清掃である。
- b 化学的清掃には唾液の流れも関与する。
- c 歯石除去は手術的清掃法の1つである。
- d 自然的清掃は対合歯との咬合状態に影響される。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- ×a 歯磨剤は清掃効果を高めるとともに清涼感を味わったり、薬効成分の効果を期待して歯ブラシとともに用いられるものであって、人工的清掃に必須というわけではない。
- b 自然的清掃のなかでも唾液による自浄作用の影響は大きく、病的に唾液成分が減少する口腔内乾燥症ではう蝕が多発したりする。
- c 手術的(専門的)清掃法とは専門家の行う歯口清掃であり、歯石除去(ルートプレーニングも含む)や歯面研磨がある。
- d 自然的清掃には、頬、舌、唾液、咀嚼によるものと清掃性食品によるものがあり、対合歯との咬合状態によって咀嚼による自然的清掃に影響を受ける。特に対合歯を失った歯は不潔になりやすい。

正解 a

〔問題 18〕 歯磨剤に含まれる研磨剤はどれか。

- a 安息香酸ナトリウム
- b アルギン酸ナトリウム
- c ピロリン酸カルシウム
- d ラウリル硫酸ナトリウム

▶口腔衛生学

選択肢考察

- ×a 安息香酸ナトリウムは防腐剤(保存料)として配合されている。
- ×b アルギン酸ナトリウムは粘結剤(結合剤)として配合されている。
- c ピロリン酸カルシウムは研磨剤として配合されている。
- ×d ラウリル硫酸ナトリウムは発泡剤(界面活性剤)として配合されている。

正解 c

📖 DH19:P122

【問題 19】キシリトールの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 血糖値を上昇させる。
- b 糖アルコールである。
- c 多量摂取によって便秘が生じる。
- d 甘味度は砂糖とほぼ同じである。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a キシリトールは血糖値に影響しない。
- b ソルビトールやマンニトールなどと同じ糖アルコールである。
- × c 多量摂取により、軟便になることがある。
- d 甘味度は砂糖とほぼ同等である。

正解 b、d

DH19:P537

【問題 20】低年齢児が行えるブラッシング法はどれか。2つ選べ。

- a フォーンズ法
- b ローリング法
- c チャーターズ法
- d スクラッピング法

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a フォーンズ法は、毛先を用い歯面に対して90度に当て円を描くように行う方法である。簡単な磨き方であり、小児でも行うことができる。
- × b ローリング法は、毛先を歯尖側に向け、脇腹を歯肉にあてた後、歯ブラシを回転させながら咬合面方向に移動させる方法である。低年齢児には操作が難しい。
- × c チャーターズ法は、毛先を歯冠方向45度に向けて歯間部に入れ、脇腹を歯肉にあて圧迫振動させる方法である。低年齢児には操作が難しい。
- d スクラッピング法は、毛先を用い歯面に対して90度で微振動させながら行う方法である。簡単な磨き方であり小児でも行うことができる。

正解 a、d

DH19:P121

【問題 21】健康日本21(第2次)における平成34年度の「20歳以上で過去1年間に歯科検診を受診した者の割合」の目標値はどれか。

- a 50%
- b 55%
- c 65%
- d 80%

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- c 「20歳以上で過去1年間に歯科検診を受診した者の割合」は65%を目標としている。

正解 c

DH19:P146

【問題 22】地域包括ケアシステムで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 介護給付の支援を目指す。
- b 医療が優先的に提供される。
- c 高齢者の尊厳の保持を目指す。
- d 住み慣れた地域での暮らしを支える。

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 地域包括ケアシステムの目的の1つとして、自立生活の支援を目指す。
- × b 医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供される。
- c 高齢者の尊厳の保持は、地域包括ケアシステムの目的の1つである。
- d 地域包括ケアシステムでは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービスが提供される。

正解 c、d

DH19:P183

【参考】

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要である。今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要となる。人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じている。地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要である。

【問題 23】平成28年国民生活基礎調査で要介護状態の原因疾患で最も多いのはどれか。

- a 糖尿病
- b 認知症
- c 高齢による衰弱
- d 脳血管疾患(脳卒中)

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b 国民生活基礎調査は基幹統計として、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とするものである。介護が必要となった主な原因を要介護度別にみると、要支援者では「関節疾患」が17.2%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が16.2%、「骨折・転倒」が15.2%となっている。要介護者では「認知症」が24.8%で最も多く、次いで「脳血管疾患(脳卒中)」が18.4%、「高齢による衰弱」が12.1%となっている。総数では「認知症」が18.0%で最も多く、次いで「脳血管疾患(脳卒中)」が16.6%、「高齢による衰弱」が13.3%となっている。

正解 b

DH19:P204

[問題 24] 保健所の業務はどれか。

- a 成人の健康相談
- b 食中毒患者の届出
- c 介護保険の申請業務
- d 1歳6か月児歯科健診

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 成人の健康相談は、**市町村保健センター**の業務である。
- b 食中毒は、確定診断に至らなくても〔疑い〕の場合も、ただちに(24時間以内)最寄りの保健所へ届け出る必要がある。
- × c 介護保険の申請業務は、**市町村**および**特別区**の業務である。
- × d 1歳6か月児歯科健診は、**母子保健法**に基づく**市町村**の業務である。

正解 b

DH19:P171

[問題 25] 感染症の感染源対策はどれか。

- a 予防接種
- b マスクの装着
- c 帰宅後の手洗い
- d 海外旅行者への発熱の間診

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 予防接種は**感受性対策**である。
- × b マスクの装着は**感染経路対策**である。
- × c 帰宅後の手洗いは**感染経路対策**である。
- d 海外旅行者への発熱の間診は検疫で行われ、**感染源対策**である。

正解 d

[問題 26] 市町村が保険者なのはどれか。

- a 介護保険
- b 労災保険
- c 共済組合保険
- d 後期高齢者医療制度

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 介護保険の保険者は**市町村**(および**特別区**)である。ほかに国民健康保険も市町村運営のものがメインとなる(一部特定業種の自営業者は別に国民健康保険組合をつくっている)。
- × b 労災保険は**政府**が保険者で、事業主が保険に加入し、被保険者(労働者)に保険事故が発生した場合に保険金を給付する保険である。
- × c 共済組合保険は、**共済組合**が保険者で、公務員、私立学校職員が加入している保険である。
- × d 後期高齢者医療制度の保険者は各都道府県の**全市町村**が加入する**広域連合**が保険者である。

正解 a

DH19:P190

[問題 27] 蚊を媒介して感染するのはどれか。2つ選べ。

- a 赤痢
- b コレラ
- c 日本脳炎
- d デング熱

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 赤痢は**ハエ**が媒介する。
- × b コレラは飲用水などを通じて感染する。
- c、○ d 日本脳炎、デング熱は**蚊**が媒介する。

正解 c、d

DH19:P154

[問題 28] 平成28年度に児童相談所が対応した児童虐待で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 減少傾向である。
- b 身体的虐待が最も多い。
- c 虐待者は実母が最も多い。
- d 被虐待者は7~12歳が最も多い。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 26年連続で増加している。
- × b **心理的虐待**の割合が最も多く、次いで**身体的虐待**の割合が多い。
- c 主な虐待者別構成割合をみると「**実母**」が48.5%と最も多く、次いで「**実父**」が38.9%となっており、「**実父**」の構成割合は年々上昇している。
- d 被虐待者を年齢別にみると「**7~12歳**」が41,719件(構成割合34.0%)と最も多く、次いで「**3~6歳**」が31,332件(同25.6%)、「**0~2歳**」が23,939件(同19.5%)となっている。

正解 c、d

DH19:P188

[問題 29] かかりつけ歯科医が担う役割はどれか。2つ選べ。

- a 継続的な疾病管理
- b 地域包括ケアに参画
- c 高度先進医療の実施
- d 自己完結型医療の実施

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 重症化予防のための必要な初期治療および継続的な疾病管理を行う。
- b 介護認定審査会や地域ケア会議など地域包括ケアに参画する。
- × c 地域医療の一翼を担う。
- × d 地域完結型医療を目指す。

正解 a、b

〔問題 30〕 歯科口腔保健の推進に関する法律で規定されているのはどれか。

- a 地域ごとの医療計画
- b 口腔保健センターの設置
- c 歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発
- d 地域包括ケアシステムにおける歯科の役割

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- c 歯科口腔保健の推進に関する法律では、国民保健の向上に寄与するため、歯科疾患の予防等による口腔の健康の保持の推進に関する施策を総合的に推進するため下記の基本理念が規定されている。
- ① 国民が、生涯にわたって日常生活において歯科疾患の予防に向けた取組を行うとともに、歯科疾患を早期に発見し、早期に治療を受けることを促進する。
  - ② 乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、適切かつ効果的に歯科口腔保健を推進する。
  - ③ 保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、その関係者の協力を得て、総合的に歯科口腔保健を推進する。

【参考】

● 歯科口腔保健の推進に関する施策

- ① 歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発等
- ② 定期的に歯科検診を受けること等の勧奨等
- ③ 障害者等が定期的に歯科検診を受けること等のための施策等
- ④ 歯科疾患の予防のための措置等
- ⑤ 口腔の健康に関する調査及び研究の推進等

● 歯科口腔保健の推進に関する施策の実施体制

- ① 基本的事項の策定等  
国：施策の総合的な実施のための方針、目標、計画その他の基本的事項を策定・公表  
都道府県：基本的事項の策定の努力義務
- ② 口腔保健支援センター  
都道府県、保健所設置市及び特別区が設置〔任意設置〕する。  
センターは、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施等の支援を実施

正解 c

DH19:P192

〔問題 31〕 歯科衛生士による居宅療養管理指導の算定で、月の算定限度回数はどれか。

- a 1回
- b 2回
- c 3回
- d 4回

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- d 居宅療養管理指導は、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士等又は看護職員が通院が困難な利用者の居宅を訪問して、その心身の状況、置かれている環境等を把握し、療養上の管理及び指導を行うもので、歯科衛生士は月に4回を限度として規定されている。

正解 d

〔問題 32〕 歯科衛生士法の規定で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 業務上知り得た人の秘密を漏らしてはならない。
- b 歯科予防処置は主治の歯科医師の指示がなくてもできる。
- c 歯科衛生士でない者は歯科衛生士の名称を使用してはならない。
- d 業務に従事する者は3年毎に就業地の都道府県知事に届け出る。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 歯科衛生士法の規定により、歯科衛生士には守秘義務がある。業務上知り得た患者の秘密は、歯科衛生士を業としなくなってからも守秘する義務が続く。
- × b 歯科予防処置としては、歯石除去、フッ化物歯面塗布、小窩裂溝充填などがあるが、主治の歯科医師の直接の指示に従って実施されるものである。
- c 歯科衛生士でない者は、歯科衛生士またはこれと紛らわしい名称を使用してはならない。
- × d 業務に従事している歯科衛生士は、2年ごとの年の12月31日における氏名、住所、就業状況などを翌年1月15日までに就業地の都道府県知事に届け出る義務がある。

正解 a, c

〔問題 33〕 混合歯列期の骨格性下顎前突症患者の保護者に医療面接を行った。

思春期後期の下顎の成長パターンを予測するのに最も参考となるのはどれか。

- a 主訴
- b 社会歴
- c 既往歴
- d 家族歴

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 主訴はあくまでも現在のものであり、将来の予測は困難である。
- × b 社会歴には患者の生育環境や家族状況のほか、趣味や嗜好品などが含まれるが、それによる将来の予測は困難である。
- × c 既往歴は出生してから現在までの健康状態や病歴であり、それによる将来の予測は困難である。
- d 骨格性下顎前突症は遺伝性が高く、患者の家族や近親者の健康状態を表す家族歴が重要となる。

正解 d

【問題 34】 インフォームドコンセントで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 患者が治療に対し同意する。
- b 患者が予後の説明を求める。
- c 医療従事者が治療法を選択する。
- d 医療従事者間の信頼関係を築く。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a、○ b インフォームドコンセントは、「説明と同意」と訳され、受けようとする医療行為について、その目的や方法、予想される結果や危険性など、患者が十分な説明を受け、そのうえではじめて同意するというものである。
- × c 治療法を選択は、「患者が選択して、同意する」ことが原則である。また「患者が選択して、同意する」という意味を込めて「インフォームド・チョイス」という言葉が用いられることもある。
- × d 医療従事者と患者間の信頼関係を築くことが重要である。

正解 a、b

【問題 35】 摂食嚥下障害が疑われる患者に行っている検査の写真(別冊午前 No. 3)を別に示す。

この検査で正しいのはどれか。

- a 咀嚼機能を評価できる。
- b 3回/60秒未満で陽性とする。
- c 摂食嚥下機能の精密検査である。
- d 随意的な嚥下反射の惹起を評価する。

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 咀嚼機能検査は、食塊を形成して嚥下動作を開始するまでの一連の能力を検査・評価するもので、**簡分法**にて行う。
- × b 写真は反復唾液嚥下テスト(RSST)である。RSSTは**3回/30秒**未満で陽性とする。
- × c RSSTは摂食嚥下機能の**スクリーニング**検査である。
- d RSSTは唾液を空嚥下させ、随意的な嚥下反射の惹起を定量的に評価する。

正解 d

DH19:P630



No. 3

【問題 36】 レジン歯と比較した陶歯の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 咬耗しにくい。
- b 耐変色性が劣る。
- c 耐吸水性が劣る。
- d 削合が困難である。

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- a レジン歯に比べて陶歯は咬耗しにくい。
- × b レジン歯に比べて陶歯は耐変色性に**優る**。
- × c レジン歯に比べて陶歯は耐吸水性に**優る**。
- d レジン歯に比べて陶歯は削合が**困難**である。

正解 a、d

【問題 37】 出血性素因のスクリーニング検査はどれか。2つ選べ。

- a ヘマトクリット値(Ht)
- b ヘモグロビン濃度(Hb)
- c プロトロンビン時間(PT)
- d 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a Ht(ヘマトクリット値)は、全血液中に占める赤血球の容積比率で、**貧血**や**脱水**の検査項目である。
- × b Hb(ヘモグロビン濃度)は、赤血球中に含まれるヘモグロビン濃度で、**貧血**の検査項目である。
- c PT(プロトロンビン時間)は、**外因系凝固因子**の検査項目である。
- d APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)は、**内因系凝固因子**の検査項目である。

正解 c、d

[問題 38] 歯の損耗の誘因となるのはどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 習慣性嘔吐
- c グラインディング
- d フッ化物の過剰摂取

▶保存修復学

選択肢考察

- × a 口呼吸は、口腔乾燥によるう蝕や歯周疾患の原因となる。
- b Tooth wear (歯の損耗)とは、細菌感染によらない歯質の喪失(非う蝕性硬組織疾患)である。これには、摩耗、咬耗、酸蝕症、アブラクションが含まれる。摂食障害による習慣性嘔吐は、胃酸による酸蝕症の原因となる。
- c グラインディング(歯ぎしり)は咬耗の原因となる。
- × d フッ化物の過剰摂取は斑状歯の原因となる。

正解 b, c

📖 要点集 282:P12

[問題 39] 66歳の女性。下顎前歯歯頸部の審美不良を主訴として来院した。わずかな冷水痛を訴えている。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 4)を別に示す。審美不良の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合圧
- b ブラッシング圧
- c 歯間清掃の不備
- d 酸性食品の過剰摂取

▶保存修復学

選択肢考察

- a 咬合圧が歯頸部に集中することによって、エナメル質が破壊されることがあり、これが原因と考えられる。
- b 咬合圧とブラッシング圧の複合効果が原因であると考えられる。
- × c 歯間清掃は明らかに不良であるが、歯間部歯質に明らかな実質欠損はみられない。
- × d 酸性食品の過剰摂取は外因性の酸蝕症であるが、歯肉退縮や歯根部の脱灰はみられない。

正解 a, b

No. 4



[問題 40] 高速切削が必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 窩洞の仕上げ
- b エナメル質の切削
- c 軟化象牙質の除去
- d 全部金属冠の除去

▶保存修復学

選択肢考察

- × a 窩洞形成の仕上げは微細な操作が必要であり、高速切削は適切でない。
- b エナメル質は人体のなかで最も硬い組織であり、切削にはタングステンカーバイドバーやダイヤモンドポイントを高速回転で用いる。
- × c 軟化象牙質の除去はスチール製のラウンドバーを用いて低速回転で行う。
- d エアータービンに金属除去用のカーバイドバーを装着し、全部金属冠に切れ込みを入れ除去する。

正解 b, d

📖 要点集 282:P15

[問題 41] 26歳の男性。上顎右側犬歯から上顎左側犬歯までの前歯部の変色を主訴として来院した。上顎前歯部はすべて生活歯である。処置中の口腔内写真(別冊午前 No. 5)を別に示す。治療後に起こり得るのはどれか。2つ選べ。

- a 外部吸収
- b 歯冠破折
- c 知覚過敏
- d 色調の後戻り

▶歯内療法

選択肢考察

- × a 失活歯の漂白法では、漂白剤が象牙細管を介して歯根膜を刺激した際に歯根が吸収され、外部吸収が生じることがある。
- × b 歯の漂白で歯冠が破折することはない。
- c 生活歯の漂白時に知覚過敏が発症することがある。
- d 漂白治療が終了した後、一定期間経過後に色調の後戻りを起こすことがある。

正解 c, d

No. 5



[問題 42] 下顎中切歯歯頸部付近の根面う蝕を除去したところ、米粒大に露髄し出血した。適切な処置はどれか。

- a 直接覆髄
- b 暫間的間接覆髄
- c 抜髄
- d 感染根管治療

▶歯内療法

選択肢考察

- × a う蝕を除去した際の大きい露髄のため、直接覆髄は適応でない。
- × b 露髄後の処置のため、暫間的間接覆髄は適応でない。
- c 根面う蝕除去時の大きい露髄であるため抜髄が適応となる。
- × d 露髄時に出血が認められたことから生活歯髄であり、感染根管治療は適応でない。

正解 c

[問題 43] 歯周治療で口腔機能回復治療として行うのはどれか。

- a 暫間固定
- b インプラント補綴
- c ルートプレーニング
- d 保存不可能な歯の抜去

▶歯周治療学

選択肢考察

- × a 暫間固定は、動揺歯を周囲の歯と連結することにより、歯周組織に対する咬合力の分散と安静を図ることを目的とする。歯周基本治療で行う。
- b インプラント治療は口腔機能回復治療である。
- × c ルートプレーニングは、壊死性セメント質の除去、根面の滑沢化を目的として歯周基本治療で行う。
- × d 治療計画の段階で、保存不可能であると診断した歯の抜去は歯周基本治療で行う。

正解 b

📖 要点集 282:P30

[問題 44] 44歳の男性。下顎右側第一大臼歯の歯肉出血を主訴として来院した。1年前から気付いていたがそのままにしていたという。歯周基本治療後、再評価を行った。再評価時の口腔内写真(別冊午前 No. 6A)とエックス線写真(別冊午前 No. 6B)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	3	3	④	④	3	⑤	④	3	3
歯種	7		6		5				
頬側*	④	3	4	④	4	⑥	⑤	2	3
根分岐部病変**	-		1		-				

\* : 歯周ポケットの深さ(mm)

\*\* : Lindhe の分類(-は分岐部病変がないことを示す)

○印: ブローピング時の出血

6] に行われる処置はどれか。2つ選べ。

- a フラップ手術
- b トライセクション
- c 歯周ポケット搔爬術
- d エナメルマトリックスタンパク質の応用

▶歯周治療学

No. 6 A



B



選択肢考察

- a 一般的に垂直性骨吸収に骨移植術、GTR法、エナメルマトリックスタンパク質(EMD)などの再生療法が適応とされるが、骨吸収の状態などにより再生療法を行うのが困難な場合はフラップ手術を行う。
- × b トライセクションは上顎大臼歯が適応である。
- × c 歯周ポケット搔爬術は、4~5mm程度の骨縁上ポケットが適応である。この症例では、近心ポケットは6mmあり、垂直性骨吸収もあることから骨縁下ポケットである。
- d エナメルマトリックスタンパク質(EMD)は、深い垂直性骨吸収が適応となる。この症例では深い垂直性骨吸収が近心にあるため、EMDが適応できる。

正解 a, d

📖 要点集 282:P33、P34

【問題 45】 75歳の女性。全部床義歯がはずれやすいことを主訴として来院した。検査の結果、新義歯を製作することになった。製作過程で行ったある操作の写真(別冊午前 No. 7)を別に示す。

行っているのはどれか。

- a 筋圧形成
- b 精密印象
- c 接着剤塗布
- d トレーの補強

選択肢考察

- a 写真は上顎の個人トレー臼歯後部にモデリングコンパウンドを付与していることから、筋圧形成であることがわかる。筋圧形成とは、口腔が機能を営んでいる状態を印象辺縁に形成する方法であり、適切に行うことで義歯の床面積を最大限に拡大することができ、良好な維持力を発揮する義歯を製作できる。

正解 a



No. 7

▶ 歯科補綴学

【問題 46】 光学印象を用いたCAD/CAM レジンクラウン製作で必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 補綴物設計
- b 支台歯形成
- c 作業用模型製作
- d ワックスアップ

選択肢考察

- a 補綴物の設計はCAM上で行う。
- b 支台歯形成は行う必要がある。
- × c 光学印象は従来の印象法とは異なり、支台歯のデータをそのままCADに転送することで、印象材による印象採得や、作業用模型製作を必要とせず、取り込んだデータをCAD上で立ち上げ、補綴物の設計を行いCAMで削り出しを行う。
- × d 金属を用いた補綴物ではないため、ワックスアップの必要はない。

正解 a、b

▶ 歯科補綴学

【問題 47】 上顎全部床義歯製作中の写真(別冊午前 No. 8)を別に示す。

この操作の特徴はどれか。

- a 側方運動を容易にする。
- b 歯槽部の豊隆を診査する。
- c 粘膜面の適合が向上する。
- d 義歯完成後に行うことが多い。

選択肢考察

- × a 写真はパラトグラムを行っている。これは発音時の舌の動きを診査するものであり、側方運動を容易にするものではない。
- b 各発音によって標準的形態が決まっているため、パラトグラムで歯槽部の豊隆を診査し、修正する。
- × c 粘膜面の適合を診査するものではないため、適合が向上することはない。
- × d パラトグラムは蠟義歯試適時に行い、口蓋部の歯肉形成を修正する目安となる。

正解 b



No. 8

▶ 歯科補綴学

【問題 48】 基準平面の図(別冊午前 No. 9)を別に示す。

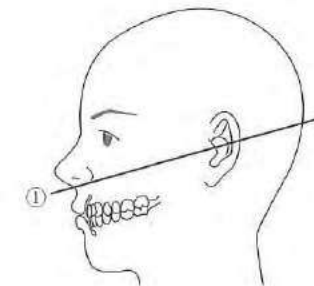
①はどれか。

- a 眼高平面
- b カンベル平面
- c 正中矢状平面
- d フランクフルト平面

選択肢考察

- × a 眼高平面は2つの眼点を含む、フランクフルト平面に直角な垂直平面である。
- b カンベル平面は頭蓋の基準として想定した平面で、左右の鼻翼下点と耳珠上縁を結んだ線で決定される。
- × c 正中矢状平面は、フランクフルト平面に直角で顔面の正中を通る垂直平面である。
- × d フランクフルト平面は、両側外耳孔上縁の中点と左側眼窩下縁の最下点とを結んでできる平面で、頭蓋に対する水平基準面である。

正解 b



No. 9

▶ 歯科補綴学

要点集 282:P36

[問題 49] 骨折について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 若木骨折は完全骨折である。
- b 介達骨折は外力作用部位に生じる。
- c 複雑骨折は被覆軟組織の損傷を伴う。
- d 陳旧骨折は受傷後1か月以上経過する。

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 完全骨折は、骨折部位が完全に離断している状態である。若木骨折は**不完全骨折**の状態である。
- × b 介達骨折は、外力が作用した部位とは異なる部位に生じる骨折である。
- c 複雑骨折は、骨のみならず軟組織の損傷を伴う。
- d 陳旧骨折は、通常受傷後1か月経過しているものをいう。

正解 c、d

📖 要点集 282:P69

[問題 50] 68歳の女性。左側下顔面の疼痛を主訴として来院した。3日前から左側下顔面に発赤を伴う水疱が出現し、聴覚過敏とめまいを自覚するという。初診時の顔貌写真(別冊午前 No.10)を別に示す。

疑われるのはどれか。

- a クルーゾン症候群
- b ラムゼーハント症候群
- c ビエール・ロバン症候群
- d ポイツ・イエーガー症候群

▶口腔外科学

No.10



選択肢考察

- × a クルーゾン症候群は、頭蓋縫合の早期癒合により生じた常染色体優性遺伝疾患で、頭蓋の短い前後径、眼球突出、上顎の形成不全による上顎後退に伴う**相対的下顎前突**がみられる。
- b 3日前から発赤を伴う水疱が、左側の三叉神経第三枝領域に局限して出現し、聴覚過敏とめまいを自覚すること、写真から水疱が癒合、自壊し、潰瘍を形成していることから、**带状疱疹**である。带状疱疹は水痘に罹患後、神経節に潜伏感染していた水痘・带状疱疹ウイルス(VZV)が細胞性免疫能の低下により再活性化され、特定の神経支配領域の皮膚に水疱性病変を形成したものである。外耳道および耳介周囲の**带状疱疹**、**顔面神経麻痺**や**難聴**、**めまい**などの内耳症状の**三主徴**を示すものを**ラムゼーハント症候群**という。
- × c ビエール・ロバン症候群は、先天性の**小下顎症**と舌下垂を示す疾患で、小下顎症のため呼吸障害や哺乳障害がみられる。
- × d ポイツ・イエーガー症候群は常染色体優性遺伝疾患で、口腔粘膜、皮膚の黒褐色の**色素沈着**、**消化管ポリポース**が特徴である。

正解 b

[問題 51] 生後2週の新生児。哺乳障害を主訴として来院した。初診時の顔貌写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

まず行う対応はどれか。2つ選べ。

- a 哺乳指導
- b 口唇形成術
- c 口蓋形成術
- d ホット床の装着

▶口腔外科学

No.11



選択肢考察

- a 母親に対する哺乳指導が必要である。
- × b 口唇形成術は**生後3か月**、体重5kgを目途に行う。
- × c 口蓋形成術は**1歳半前後**、体重10kgを目途に行う。
- d 生後まもなく**ホット床**を装着して、哺乳障害の改善を図り、顎発育を誘導する。

正解 a、d

📖 要点集 282:P64

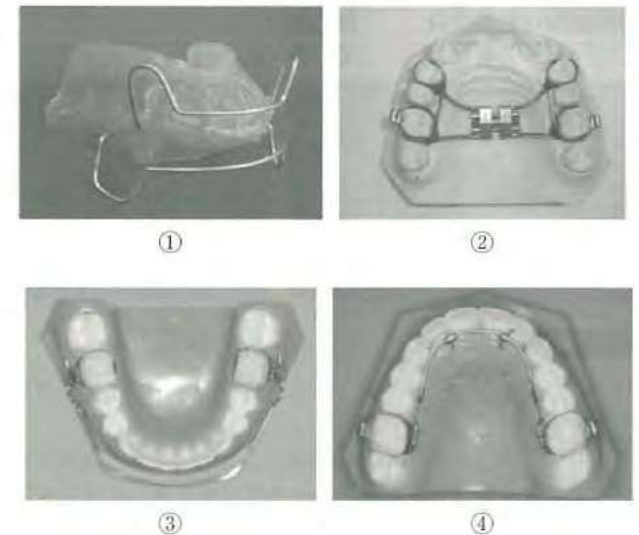
[問題 52] 矯正装置の写真(別冊午前 No.12)を別に示す。

器械的矯正装置はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

No.12



選択肢考察

- × a、× c 機能的矯正装置とは筋の機能能力を利用したもので、**アクチバートル**(①)や**リップバンパー**(③)が該当する。
- b、○ d 器械的矯正装置とは器械の力を利用したもので、**急速拡大装置**(②)や**舌側弧線装置**(④)が該当する。

正解 b、d 📖 要点集 282:P47

【問題 53】 蝶形骨に存在する軟骨結合を示す。

- ① 蝶形窩軟骨結合  
② 蝶形骨間軟骨結合  
③ 蝶形後頭軟骨結合

組合せの組合せで正しいのはどれか。

出生時 7歳頃 20歳頃

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| a | ① | ② | ③ |
| b | ③ | ① | ② |
| c | ② | ③ | ① |
| d | ③ | ② | ① |

▶矯正歯科学

知識要領

- b 頭蓋底の前後径は、蝶形窩軟骨結合、蝶形骨間軟骨結合および蝶形後頭軟骨結合の軟骨性成長によって増大する。蝶形骨間軟骨結合は出生時に癒合するが、蝶形窩軟骨結合は7歳頃まで成長し癒合、蝶形後頭軟骨結合は最も成長が長く続き、20歳頃に癒合する。

正解 b

【問題 54】 矯正装置装着時の口腔内写真(別冊午前 No.13)を別に示す。矢印の装置の使用目的の組合せで正しいのはどれか。

上顎前歯 下顎臼歯

- |   |      |    |
|---|------|----|
| a | 唇側傾斜 | 圧下 |
| b | 唇側傾斜 | 挺出 |
| c | 舌側傾斜 | 圧下 |
| d | 舌側傾斜 | 挺出 |

▶矯正歯科学

知識要領

- d 写真の装置はII級ゴムである。II級ゴムは上顎前歯側に用いられ、上顎前歯部の舌側傾斜と下顎臼歯の挺出がみられる。

正解 d



【問題 55】 矯正装置の写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

この装置の目的はどれか。

- a 単純固定  
b 不動固定  
c 顎外固定  
d 顎内固定

▶矯正歯科学

No.14



知識要領

- × a 単純固定は抵抗の性質により分類されるもので、固定源となる歯が傾斜移動するような形式で固定源になっているものをいう。  
× b 不動固定は抵抗の性質により分類されるもので、固定源となる歯が歯体移動するような形式で固定源になっているものをいう。  
○ c 写真はヘッドギアである。顎外固定は固定源を口腔外に設定したものをいう。ヘッドギア、上顎前方牽引装置などが該当する。  
× d 顎内固定は固定源が口腔内にあり、かつ同顎内にある場合をいう。

正解 c

◎ 要点集 282:P.47

【問題 56】 9歳の男児の口腔内写真(別冊午前 No.15)を別に示す。

最も関連の深い習癖はどれか。

- a 吸唇癖  
b 咬唇癖  
c 咬爪癖  
d 拇指吸引癖

▶小児歯科学

No.15



知識要領

- × a 吸唇癖は下顎骨が遠心位にあるときにみられることが多い習癖であり、**叢生**の原因になる。  
× b 咬唇癖は吸唇癖と同様の病態をとる。  
× c 咬爪癖は前歯部の異常な磨耗を引き起こす可能性と**叢生**になる可能性が高い。  
○ d 拇指吸引癖は開咬のほとんどが前歯部にみられる。稀に側方歯部分にのみみられることもある。原因は、拇指吸引癖とそれにより誘発される異常横下歯であることがほとんどである。

正解 d

◎ 要点集 282:P.46

[問題 57] 根尖病変を有する根未完成歯に適用されるのはどれか。

- a 抜髄
- b 暫間的間接覆髄
- c アペキソゲネーシス
- d アペキシフィケーション

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a 抜髄は非可逆性の歯髄炎に行う治療法であり、根尖性歯周炎には行わない。
- × b 暫間的間接覆髄法 (IPC 法) は、軟化象牙質を完全に除去すると露髄する恐れのある生活歯が適応となる。
- × c アペキソゲネーシスは、根尖部歯髄を残すことで根未完成歯の歯根形成を促す処置で、根尖付近の歯髄が健康であることが不可欠であるため、根尖性歯周炎は適応とならない。
- d 根尖病変を有するという事は、歯髄が失活した根尖性歯周炎である。根未完成な幼若永久歯の感染根管治療では根尖の狭窄・閉鎖を期待するためにアペキシフィケーションが適応となる。アペキシフィケーションは、歯髄が失活あるいは感染根管となった根未完成歯が適応となり、幼若永久歯の開口した根尖部にセメント質様、または骨様硬組織を形成させて根尖閉鎖をはかる方法である。

正解 d

📖 要点集 282:P61

[問題 58] 85歳の男性。家族に義歯を隠されたと訴えて来院した。家族によるとその事実はないという。

この症状と同じカテゴリーに分類される認知症の症状はどれか。2つ選べ。

- a 異食
- b 失認
- c 不潔行為
- d 見当識障害

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- a 認知症の症状は一般的に中核症状と周辺症状に分けられる。家族に義歯を隠されたという症状は認知症の周辺症状の1つである、物盗られ妄想である。認知症とは「一度正常に達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続性に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態」と定義され、この症状に感情、意欲、性格などの障害が加わることがある。異食とは食べ物以外の物も口に入れることであり、認知症の周辺症状である。
- × b 失認は品物を見ても何かわからないことであり、認知症の中核症状である。
- c 認知症の周辺症状の1つに弄便があり、これが不潔行為と考えることができる。
- × d 見当識障害は時間、場所、人物を特定する能力が低下することであり、認知症の中核症状である。

正解 a、c

📖 DH19:P600

[問題 59] 高齢者にみられる加齢変化はどれか。

- a 舌筋力の増大
- b 味覚閾値の上昇
- c 歯髄細胞数の増加
- d 唾液分泌量の増加

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 舌は加齢により舌筋線維が減少し、舌筋力は低下する。
- b 高齢者では味蕾の総数が減少するため、味覚閾値は上昇する。
- × c 加齢に伴い歯髄腔は狭窄し、歯髄細胞数も減少する。
- × d 加齢に伴い唾液腺は萎縮傾向にあり、唾液分泌量は減少する。

正解 b

📖 DH19:P53

[問題 60] 国際生活機能分類 (ICF) の背景因子はどれか。

- a 活動
- b 参加
- c 環境因子
- d 健康状態

▶障害者・高齢者歯科学

選択肢考察

- c ICF は、人間の生活機能と障害について「心身機能・身体構造」「活動・参加」の次元及び「環境因子・個人因子」等の影響を及ぼす背景因子で構成されており、国際障害分類 (ICIDH) が身体機能の障害による生活機能の障害 (社会的不利) を分類するという考え方が中心であったのに対し、ICF はこれらに環境因子という観点を加え、例えば、バリアフリー等の環境を評価できるように構成されている。

正解 c

📖 DH19:P168

次の文を読み、[問題 61]、[問題 62] に答えよ。

79歳の男性。訪問歯科診療の依頼があった。長期の喫煙歴がある。訪問時の患者の写真(別冊午前 No.16 A)と下顔面の写真(別冊午前 No.16 B)及び使用機器の写真(別冊午前 No.16 C)を別に示す。

[問題 61] この機器はどれか。

- a 酸素濃縮器
- b 人工呼吸器
- c ネブライザー
- d パルスオキシメータ

[問題 62] 考えられる疾患はどれか。

- a 脳梗塞
- b 気管支喘息
- c 慢性関節リウマチ
- d 慢性閉塞性肺疾患

▶障害者・高齢者歯科学

No.16 A



B



C



選択肢考察

[問題 61]

- a 長期の喫煙歴があることから、慢性閉塞性肺疾患(COPD)が考えられる。写真Cは酸素濃縮器である。写真Bから患者は鼻カニューレを装着していることがわかる。酸素濃縮器による高濃度酸素吸入中は、たばこ等の火気を近づけるとチューブや衣服類に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因となるため注意する。
- × b 人工呼吸器は何らかの理由で呼吸が不十分になった際に使用する。写真の鼻カニューレでは空気の漏れが起こる。
- × c ネブライザー(吸入器)は気道(口腔、鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、気管支枝、肺胞など)に湿気を与えたり、気管、気管支、気管支枝、肺胞に薬液を与えるために使用する。鼻カニューレは使用しない。
- × d パルスオキシメータは発光部と受光部で構成されたプローブを指先に装着し、非侵襲性に脈拍数と経皮的動脈血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)を測定する機器である。

[問題 62]

- × a 脳梗塞の既往がある患者では麻痺症状がみられるが、日常生活において酸素の吸入は必要ない。
- × b 気管支喘息患者は、発作時に気管支拡張剤を用いるが、日常生活において酸素の吸入は必要ない。
- × c 慢性関節リウマチは、多発性非化膿性の関節炎を伴う慢性全身性の疾患で、手足などの比較的小関節に初発することが多い。左右対称性に罹患し、関節軟骨も破壊され変形と機能障害を起こす。
- d 慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称で、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患であり、喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病といえる。

正解 [問題 61] a  
[問題 62] d

[問題 63] 歯周病の局所炎症性リスクファクターはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
- b 口呼吸
- c 歯列不正
- d 2型糖尿病

▶歯科予防処置

選択肢考察

- × a 喫煙は環境因子である。
- b 口呼吸は宿主因子のうち、局所炎症性因子であり、他に菌石、菌の形態異常、上唇小帯などがある。
- c 歯列不正は宿主因子のうち、局所炎症性因子である。
- × d 2型糖尿病は宿主因子のうち、全身性因子である。

正解 b, c

📖 要点集 282:P26

[問題 64] 根分岐部病変を進行させる形態異常はどれか。2つ選べ。

- a 根面溝
- b 白後結節
- c エナメル突起
- d カラベリー結節

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯根面に生じる陥凹(根面溝)は、分岐部に面して存在すると口腔清掃が困難となり、限局性に歯周ポケットが深くなり、分岐部病変が進行しやすくなると考えられる。
- × b 白後結節は第三大臼歯遠心にみられる結節であり、分岐部病変とは関係がない。
- c エナメル突起はエナメル質が分岐部内で根尖方向に伸び出したもので、プラーク感染により容易に付着破壊が進み、分岐部病変が進行する。
- × d カラベリー結節は上顎大臼歯の近心舌側咬頭の舌側に現れるもので、分岐部病変とは関係がない。

正解 a, c

📖 要点集 282:P26

〔問題 65〕 歯の動揺度が増加するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉炎
- b 歯周膿瘍
- c 歯根破折
- d 急性化膿性歯髄炎

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯肉炎は炎症が歯肉に限局しているため、通常歯の動揺は生じない。
- b 歯周膿瘍で歯周組織周囲に炎症が波及すると、歯根膜腔も拡大し動揺を生じる。
- c 歯根破折により歯周組織に炎症が生じ、また一部脱臼などを生じることから動揺度は増加する。
- × d 急性化膿性歯髄炎は歯根膜に影響を与えないため、動揺は生じない。

正解 b、c

〔問題 66〕 咬合性外傷の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯数の減少
- b 歯肉の腫脹
- c 付着歯肉幅の狭小
- d 歯周組織の支持力の低下

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 残存歯数が減少すると、1歯に対する咬合力の集中が生じて強い力が加わるようになるため、咬合性外傷が生じる場合がある。
- × b 歯肉腫脹は歯肉に炎症があることを示すもので、咬合性外傷の原因ではない。
- × c 付着歯肉幅が狭いとプラークコントロールが不良となる場合があるため、歯周病のプラーク付着増加因子となるが、直接的な咬合性外傷の原因にはならない。
- d 歯周組織の支持力の低下は歯周炎による歯槽骨吸収により生じるため、二次性咬合性外傷の原因となる。

正解 a、d

📖 要点集 282:P28

【参考】

咬合性外傷は、咬合などの外傷性因子によって引き起こされる歯周組織の破壊であり、一次性咬合性外傷と二次性咬合性外傷に分類される。歯の動揺、歯根膜腔の拡大、垂直性骨吸収などの症状を伴う。一次性咬合性外傷は、正常な歯槽骨でアタッチメントロスがない正常な歯周組織に極めて強い力が加わった場合に生じる。二次性咬合性外傷は、歯周炎などにより歯槽骨吸収、アタッチメントロスが生じた歯周組織に対し、生理的な力であっても生じる。

〔問題 67〕 歯周治療に用いる器具の写真(別冊午前 No.17)を別に示す。

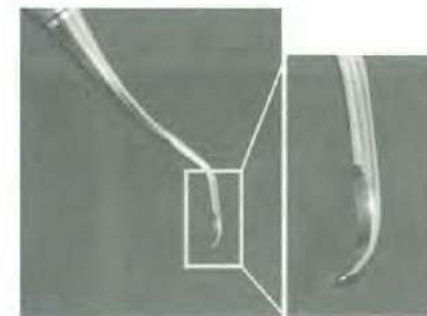
正しいのはどれか。2つ選べ。

- a フェイスの両側に刃がある。
- b 部位特異的に設計されている。
- c ハンドルを歯軸と平行にして操作する。
- d 第1シャンクとフェイスのなす角度は70度である。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 写真はグレイシー型キュレットであり、フェイスの片側にカッティングエッジを有する。両刃はシッケル型キュレット、ユニバーサル型キュレットの特徴である。
- b グレイシー型キュレットは全歯面に適合できるよう、部位特異的な設計がなされており、形と角度が異なる14種類がある。
- × c グレイシー型キュレットはオフセットブレードを有するため、第1シャンクと歯軸を平行にして操作する。
- d グレイシー型キュレットは、第1シャンクとフェイスのなす角度は70度である。ユニバーサル型キュレット、シッケル型スクレーパーは、第1シャンクとフェイスの角度が90度になっている。



正解 b、d

〔問題 68〕 ルートプレーニングの目的はどれか。

- a 知覚過敏の予防
- b エナメル質の滑沢化
- c 歯肉縁下歯石の除去
- d 壊死セメント質の除去

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 知覚過敏の予防は、歯磨剤に配合される硝酸カリウムが有効である。
- × b エナメル質を滑沢化するものではない。
- × c 歯肉縁下歯石の除去は、スクレーピングの目的である。
- d ルートプレーニングは、壊死(病的)セメント質の除去および根面の滑沢化を目的としている。

正解 d

📖 DH19:P448

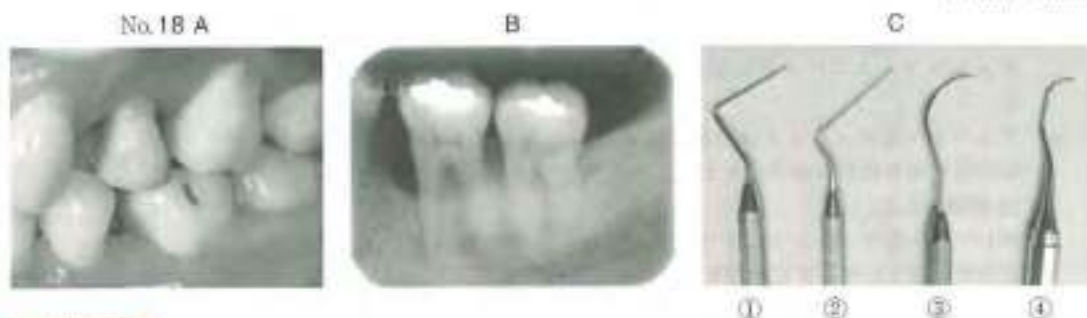
【参考】

スクレーピングは、歯肉縁上・縁下を問わず歯面からプラークや歯石を取り除くことであり、これに対しルートプレーニングとは、セメント質内に入り込んで残存している歯石や歯周病変によって影響を受けた露出セメント質(病的セメント質)あるいは象牙質を取り除くことである。

【問題 69】 40歳の男性。下顎左側第一大臼歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。3か月前から症状に気付いていたがそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.18 A)、エックス線画像(別冊午前 No.18 B)及び器具の写真(別冊午前 No.18 C)を別に示す。診査に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶歯科予防処置



選択肢考査

- a エックス線写真で第一大臼歯にう蝕はなく、近心から分岐部にかけて骨透過像が認められることから、慢性歯周炎を疑い、その検査を行う。①はポケット(歯肉)プローブである。歯周組織検査は必須であり、歯周ポケットの深さとプロービング時の出血を診査する。
- ×b ②はスプレッダーで、根管充填に用いる。
- c ③はパーケーションプローブで、分岐部病変の診査に用いる。
- ×d ④はキュレット型スクレーラーである。スクレーリング・ルートプレーニングに用いる。

正解 a, c

【問題 70】 初診時と治療開始1か月後の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

初診時	プロービング深さ (mm)	3	2	3	3	2	3	4	3	4	4	3	4	6	5	6	8	7	6	5	4	4
歯		31		32		33		34		35		36		37		38		39		40		41
1か月後	プロービング深さ (mm)	3	2	3	3	2	3	3	4	5	3	4	5	4	6	6	6	5	4	3	4	

改善がみられたのはどれか。

- a 側切歯の遠心
- b 第一小臼歯の近心
- c 第二小臼歯の遠心
- d 第一大臼歯の近心

▶歯科予防処置

選択肢考査

- d 改善がみられた(プロービング深さが減少した)部位は、犬歯近心、第二小臼歯近心・中央部、第一大臼歯近心・中央部・遠心、および第二大臼歯近心・中央部である。

正解 d

【問題 71】 器具と歯面に対する操作角度との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯面清掃器 ————— 60度
- b エアスクレーパー ————— 75度
- c 超音波スクレーパー ————— 15度
- d シックルタイプスクレーパー ——— 40度

▶歯科予防処置

選択肢考査

- a 歯面清掃器の歯面とチップとの角度は60度で、歯頸溝から切端咬合面方向に使用する。
- ×b エアスクレーパーは約15度が最適角度である。
- c 超音波スクレーパーは約15度が最適角度である。
- ×d シックルタイプスクレーパーは歯面に対し70～85度の操作角度で使用する。

正解 a, c

【問題 72】 シャーピングの仕上げに用いる砥石はどれか。2つ選べ。

- a ルビー
- b セラミック
- c アーカンソー
- d カーボランダム

▶歯科予防処置

選択肢考査

- ×a, ×d ルビー砥石やカーボランダム砥石は粒子が粗く、形態修整や粗研磨で用いる。
- b, ○c セラミック砥石およびアーカンソー砥石は仕上げ用である。

正解 b, c

【問題 73】 歯面研磨時のラバーカップの操作で適切でないのはどれか。

- a 低速回転で行う。
- b 強い圧で1か所に押し当てる。
- c 歯面に当ててから回転させる。
- d カップの辺縁を歯肉線下に入れて行う。

▶歯科予防処置

選択肢考査

- a ラバーカップは低速回転で使用することで、発熱を抑制し滑沢な歯面を形成する。
- ×b 歯面に軽く当て、また数箇所を接触させることで、発熱を抑制し滑沢な歯面を形成する。
- c 回転させた後に歯面に当てると、口腔内粘膜を損傷させることがある。
- d ラバーカップは歯肉線下の歯面研磨も行うことができる。

正解 b

次の文を読み、[問題 74]、[問題 75] に答えよ。

40歳の女性。歯肉からの出血を主訴として来院した。既往歴はない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.19 A、B)を別に示す。初診時での患者と歯科衛生士との会話の一部を示す。

歯科衛生士：今日は、どうされましたか。

患者：歯茎から血が出ます。

歯科衛生士：歯茎から血が出るのですね。

患者：いくらやっても歯ブラシがうまく当てられないんです。

歯科衛生士：なかなか上手に歯ブラシが当てられないのですね。

患者：血が出てくるから、怖くて磨けないんですよ。

歯科衛生士：血が出てくるのですね。

[問題 74] 歯科衛生士が用いているコミュニケーション技法はどれか。

- a 要約
- b 支援
- c 反映
- d 繰り返し

[問題 75] ブラッシング指導に加えて、使用を勧める口腔清掃器具はどれか。2つ選べ。

- a 綿棒
- b デンタルフロス
- c ジェット水流器
- d エンドタフトブラシ

▶歯科予防処置

No.19 A



B



選択肢考査

[問題 74]

- × a 要約は内容を一度整理することである。
- × b 支援は患者への気配りを伝えることである。
- × c 反映は患者の感情を要約して患者に返すことである。
- d 繰り返しは患者の言葉の一部を繰り返すことである。

[問題 75]

- × a 綿棒は口腔粘膜の清掃に用いる。
- b デンタルフロスは歯間隣接面の清掃に用いる。
- × c ジェット水流器は食物残渣の除去は可能であるが、プラークの除去は確しい。
- d エンドタフトブラシは最後方臼歯遠心面の清掃に用いる。

正解 [問題 74] d  
[問題 75] b、d

[問題 76] フッ化物洗口の週1回法で適切なフッ素濃度(ppmF)はどれか。

- a 250
- b 900
- c 1,000
- d 9,000

▶歯科予防処置

選択肢考査

- × a フッ素濃度 325～250 ppmF または 450 ppmF で用いられているのは、フッ化物洗口法(毎日法)である。
- b フッ素濃度 900 ppmF で用いられているのは、フッ化物洗口法(週1回法)である。
- × c フッ素濃度 1,000 ppmF で用いられているのは、フッ化物歯磨剤である。
- × d フッ素濃度 9,000 ppmF で用いられているのは、フッ化物歯面塗布剤である。

正解 b

DH19-P490

[問題 77] 6歳児に対する1,000ppmMFP配合歯磨剤を用いたブラッシング指導で、う蝕予防に効果的な方法はどれか。2つ選べ。

- a 食事前に行う。
- b 1日2回以上使用する。
- c 使用する歯磨剤の量は米粒大とする。
- d ブラッシング後の洗口は1回にとどめる。

▶歯科予防処置

選択肢考査

- × a ブラッシング後は、フッ化物が長時間口腔内に留まるように2時間程度は飲食を避けることが望ましい。
- b 1日2回または3回使用することが望ましい。
- × c 歯磨剤は米粒大では使用量が少ない。洗口ができる年齢であれば、小学校低学年であっても米粒大程度を使用する。
- d ブラッシング後の洗口を1回だけにすることで、口腔内にフッ化物が留まりやすくなる。

正解 b、d

〔問題 78〕 10歳の女児。体重20kg。0.2% NaF 溶液を用いてフッ化物洗口を行うことになった。誤飲して急性中毒を発現する可能性がある最小量はどれか。

- a 4mL
- b 20mL
- c 44mL
- d 200mL

選択肢考察

- e 体重1kg当たりのフッ化物急性中毒量は2mgである。よって体重20kgの場合の急性中毒量は $2\text{mg} \times 20\text{kg} = 40\text{mg}$ となる。また、0.2% NaF 溶液1mL中のフッ化物濃度は0.9mgであるため、急性中毒を発現する最小量は、 $40 \div 0.9 = 44.44 \dots$ となる。

正解 c

DH19:P500

▶ 歯科予防処置

〔問題 79〕 81歳の女性。咀嚼困難を主訴として来院した。最近、食物の摂取が困難となり、食事に時間がかかるようになったという。オーラルディアドコキネシスを行った。基準値と計測値を表に示す。

	[pa]	[ta]	[ka]
基準値(回/sec)	6.1	6.1	5.6
計測値(回/sec)	6.5	4.8	6.3

特に機能が低下していると考えられるのはどれか。

- a 口唇
- b 舌根
- c 舌尖
- d 軟口蓋

選択肢考察

- c オーラルディアドコキネシスは主に高齢者の口腔機能向上の指標とする検査に使われており、舌、口唇、軟口蓋などの運動速度や巧緻性を発音状況によって評価するものである。具体的には「pa」「ta」「ka」という決まった音をなるべく早く、そして一定時間内に繰り返し発音することで、その数やリズムを評価している。ちなみに、「pa」は口唇の動き、「ta」は舌前方の動き、「ka」は舌後方の動きを評価しており、設問では「ta」の回数のみが基準値を下回っていることから、舌尖の機能が低下していると考えられる。

正解 c

▶ 歯科保健指導

〔問題 80〕 問題解決指向型診療録における SOAP の「A」にあたる事項はどれか。

- a 鑑別診断
- b 検査所見
- c 指導計画
- d 治療方針

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 鑑別診断は、主観的または客観的情報から得られる個々の問題に対する経過の総括的評価の「A」に含まれる。  
 × b 医師・歯科医師が行った臨床検査結果、各種機能評価などの客観的データは「O」に含まれる。  
 × c 「S」、「O」、「A」をもとにした診療方針、診療計画、指導計画は「P」である。「P」では問題点をいかに解決するか、その方針(plan)を決める。  
 × d 治療方針は「P」である。

正解 a

DH19:P589

【参考】

従来の診療録は、患者の症状、身体所見、検査所見、診断、治療について時系列的に記載する方式が用いられている。ところがこの方式には患者の情報分析、評価をして診断するまでの論理過程の記載に統一性がない、治療計画についてまとめて記載する欄がない、などの問題点がある。診療の目的は、患者の心身、健康上の問題解決であるから、診療記録の形式は、収集した症状、所見、検査結果から、今回の分析対象とした診療情報が何であったか、その分析評価から診断に至った論理過程について明確に記載できるものであり、問題解決のプロセスの記載にも適したものであることが望ましい。このような問題の解決方法の1つとして、L. L. Weed が提唱したのが問題志向型システム (Problem-Oriented System) とよばれるシステムで、一般に POS といわれている。

問題解決指向型診療録では、まず問題点を列挙し、それぞれの問題について記録内容を以下の4項目に分離する。

- ① S (Subject) : 主観的データ。患者の訴え、病歴など。
- ② O (Object) : 客観的データ。診察所見、検査所見など。
- ③ A (Assessment) : ①と②で得た情報の評価。
- ④ P (Plan) : ①、②、③をもとにした診療方針、診療計画。

問題を列挙した一覧を Problem List という。問題点毎に、「収集した情報」と「そこからの判断」を明確に区別することから始める。そして客観的データと患者の主観的データを区別した上で、その中から問題点を抽出し、それぞれの問題点について評価と対処を記録していく。

[問題 81] 平成 29 年国民健康・栄養調査における受動喫煙の状況で、受動喫煙の機会が最も多い場所はどこか。

- a 路上
- b 職場
- c 遊技場
- d 飲食店

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

○ d 「飲食店」では 42.4%と 4 割を超えて最も高く、次いで「遊技場」では 37.3%、「路上」では 31.7%、「職場」では 30.1%といずれも 3 割を超えている。

正解 d

[問題 82] 2 歳児の歯科保健指導で適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a 指しゃぶりの防止
- b フッ化物洗口の推奨
- c 夜間の哺乳習慣の防止
- d 甘味食品のコントロール

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 指しゃぶりをやめさせる時期ではない。
- × b 2 歳児は含嗽が困難であるため、フッ化物洗口は行わない。
- c、○ d 2 歳児の歯科保健指導では、離乳後乳汁栄養が継続されないよう夜間の哺乳習慣の防止や、甘い食べ物を断続的に摂取しないよう指導する。夜間の哺乳習慣の防止や甘味食品のコントロールは、う蝕予防に有効である。

正解 c、d

[問題 83] 舌でつぶせる固さの食事を与える時期で適切なものはどれか。

- a 生後 3 か月
- b 生後 6 か月
- c 生後 8 か月
- d 生後 10 か月

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 生後 3 か月はまだ離乳の開始時期ではない。
- × b 生後 6 か月は「なめらかにすりつぶした状態」の物を与える。
- c 離乳は生後 5～6 か月頃にはじめ、18 か月頃までに完了する。その間、与える食品の固さを徐々に固くするなど、口腔の発達段階に合わせた調理形態にする必要がある。生後 8 か月は「舌でつぶせる固さ」の物を与える。
- × d 生後 10 か月は「歯ぐきでつぶせる固さ」の物を与える。

正解 c

DH19:P565

[問題 84] トータル・ヘルス・プロモーション・プランで正しいのはどれか。

- a 根拠法は労働基準法である。
- b 実施義務者は医療保険者である。
- c 40 歳以上の労働者が対象である。
- d 生活習慣病の予防が目的の 1 つである。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 根拠法は労働安全衛生法である。
- × b 事業者を実施義務がある。
- × c すべての労働者が対象である。
- d トータル・ヘルス・プロモーション・プランは、すべての働く人を対象とした総合的な「心とからだの健康づくり運動」である。生活習慣病の予防が目的の 1 つであり、すべての年齢の労働者に対し、必要に応じて運動指導、保健指導、メンタルヘルスケア、栄養指導を行う。

正解 d

DH19:P167

[問題 85] 65 歳の男性。下顎右側臼歯部の遊離端義歯を新製した。義歯装着時の口腔内写真(別冊午前 No.20)を別に示す。患者はこれまで義歯を装着したことはなく、義歯の扱いについて相談された。

義歯の取り扱いに対する指導で適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a 義歯をつけたまま歯みがきをしてください。
- b 就寝時は義歯をはずし、水を入れた容器に保管してください。
- c 歯科医師に指示された着脱方向に沿って、義歯を着脱してください。
- d 食事は硬いものから食べ、はやく義歯に慣れるようにしてください。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 義歯は外して口腔清掃し、義歯は義歯用ブラシで清掃する。
- b 就寝時は義歯を外し、乾燥を防ぐ目的で水中に保管する。
- c 部分床義歯は着脱方向が決まっているため、着脱方向に沿った着脱を指導する。
- × d 義歯に慣れるまでの間は、あまり硬くない物から食べ始めるとよい。

正解 b、c

No.20



【問題 86】 76歳の女性。3年前に脳梗塞を発症したという。現在、右半分に麻痺があり、障害高齢者の日常生活自立度はランクBである。

この患者の口腔衛生管理で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頸部前屈位で行う。
- b 含糖食品の摂取を制限する。
- c 吸引付き歯ブラシを使用する。
- d 右側を下にした側臥位で行う。

▶ 歯科保健指導

#### 選択肢考察

- a 頭部を後屈すると、気道が開き、誤嚥しやすくなるため、**頸部前屈位**で行う。
- × b 含糖食品をターゲットとした摂取制限をする必要はない。
- c 吸引付き歯ブラシを使用することで、口腔清掃中の誤嚥を防ぐことができる。
- × d 起床が難しい場合は、**健側（左側）**を下にして行う。

正解 a、c

#### 【参考】

嚥下障害患者は、誤嚥性肺炎に罹患しやすいだけでなく、低栄養状態になりやすい。口腔ケアは、口腔の機能を維持する上で単に口腔内を清潔にするだけでなく、清掃時の刺激による間接訓練としての役割も重要となる。また、口腔清掃時は口腔細菌等の誤嚥を防ぐような配慮が必要となる。

【問題 87】 メタボリックシンドロームの診断基準で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 胸 囲：男性90 cm以上、女性85 cm以上
- b 中性脂肪：150 mg/dL以上、HDLコレステロール：40 mg/dL未満
- c 最高血圧：120 mmHg以上、最低血圧：85 mmHg以上
- d 空腹時血糖：110 mg/dL以上

▶ 歯科保健指導

#### 選択肢考察

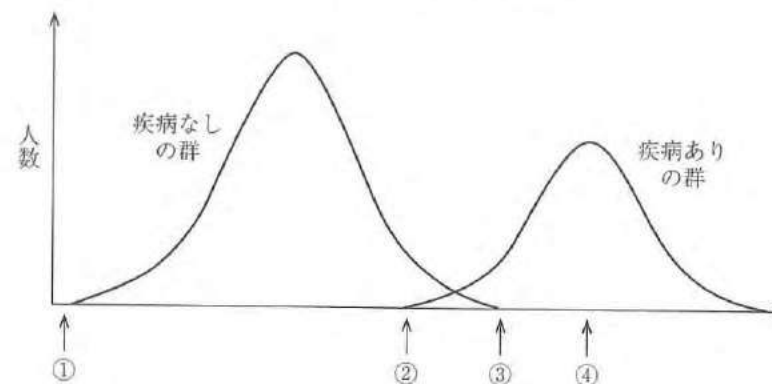
- b、d メタボリックシンドロームは、内臓脂肪型肥満（内臓肥満・腹部肥満）に**高血糖・高血圧・脂質異常症**のうち2つ以上の症状がある状態をいう。

#### ◎ メタボリックシンドロームの診断基準

1. 腹部肥満	ウエストサイズ 男性85 cm以上 女性90 cm以上
2. 中性脂肪値・ HDLコレステロール値	中性脂肪値 150 mg/dL以上 HDLコレステロール値 40 mg/dL未満 (いずれか、または両方)
3. 血圧	収縮期血圧(最高血圧) 130 mmHg以上 拡張期血圧(最低血圧) 85 mmHg以上 (いずれか、または両方)
4. 血糖値	空腹時血糖値 110 mg/dL以上

正解 b、d

【問題 88】 ある集団に対して死亡率の高い疾患のスクリーニング検査を行った際の図を示す。



最適なカットオフ値はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科保健指導

#### 選択肢考察

検査結果が段階値ではなく連続した値をとる検査の場合、疾病の罹患を判定するための基準値の設定が必要となる。この基準値を**カットオフ値**とよび、どこに設定するかによって、**感度**や**特異度**は変化する。カットオフ値はその検査の目的によって設定される。がんのような死亡率の高い疾患の場合、見落としを少なくするため、カットオフ値を低く設定し、対象疾患を検査で誤って陰性と判定してしまう偽陰性を減少させる必要がある。

- × a 偽陰性は減少できるが、偽陽性が増加してしまう。
- b 偽陰性を減少させ、また偽陽性が最小限にできる位置にカットオフ値を設定する。
- × c、× d 偽陰性が増加し、見落としが増加してしまう。

正解 b

【問題 89】 日本人の食事摂取基準(2015年版)に定められている成人の1日ナトリウムの目標量(食塩相当量)はどれか。

- a 男性 6g未満 女性 6g未満
- b 男性 7g未満 女性 7g未満
- c 男性 7g未満 女性 8g未満
- d 男性 8g未満 女性 7g未満

▶ 歯科保健指導

#### 選択肢考察

- d 男性12歳以上8g未満、女性10歳以上7g未満が成人の1日ナトリウムの目標量(食塩相当量)である。

正解 d

【問題 90】 4歳の女児。食事が困難であることを主訴として来院した。脳性麻痺と診断され、日常生活はほぼ全介助であるという。診査の結果、口唇閉鎖がうまくできなかった。保護者に対する助言で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a スプーンは浅めの物を使ってください。
- b 食べ物を上唇になすりつけるように食べさせてください。
- c 可能であれば、顔をやや下向きにして食べさせてください。
- d スプーンは口唇の大きさに対して3分の2程度の幅の物がよいです。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 深めのスプーンは一回量が多くなるため、誤嚥を起こす恐れがある。よって、浅めのスプーンがよい。
- × b 口唇閉鎖ができない口へ上唇に食物をなすりつけるように介助すると、その子の口唇を閉じる機能の獲得が障害されてしまう。そのため、口唇が下りてくるのを待つ、または下りてこない時は口唇を介助し、閉鎖するようにすることが大切である。
- c 首が反ったり、過度に前屈していると十分な嚥下の能力が発揮できず、誤嚥につながる恐れがある。適切な首の角度は軽度の前屈が望ましい。
- × d 口唇の大きさに対して3分の1～2分の1程度の幅のスプーンを選択し、介助するのがよい。

正解 a, c

【問題 91】 オーラルジスキネジアの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 睡眠時に活性化する。
- b 抗精神薬の服用で出現しやすい。
- c 歯科治療を行うにあたって影響はない。
- d 舌の不随意運動がみられることがある。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 口腔症状は睡眠時には消失する。
- b オーラルジスキネジアの発症要因は大きく2つに分かれ、1つは抗精神薬を服用してからゆっくりと発症する遅発性、もう1つは抗パーキンソン病薬を服用した場合に比較的急性に発症するジスキネジアがある。
- × c オーラルジスキネジアによって歯科治療中の協力が困難になることがある。
- d オーラルジスキネジアは舌を出し左右に動かしたり、口を突き出したり、歯を食いしばるなどの症状がある。

正解 b, d

DH19:P741

【問題 92】 終末期口腔癌患者の緩和医療で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 延命を優先する。
- b 根治的治療を主体とする。
- c 疼痛コントロールが含まれる。
- d QOLを高めることを目的とする。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 延命を優先することは過剰な治療を行うことになり、患者に苦痛を与え、患者の希望に沿わないことになる。
- × b 終末期に根治的治療を行って治癒するか、または治療が可能かどうか疑問であり、患者にも苦痛を与えることになる。
- c 終末期口腔癌患者の緩和医療では、患者自身の希望を十分に傾聴し、尊厳を保ちつつQOLを保つ治療が必要である。終末期では、患者にとって痛みは大きな苦痛であり、緩和医療では疼痛コントロールが含まれる。
- d 終末期には苦痛、不安を取り除き生活できることが重要である。すなわち、QOLを高めることを目的とする。

正解 c, d

【問題 93】 9歳の女児。嚥下時の鼻腔への逆流があることを主訴として来院した。軟口蓋の運動障害を認めたため装置を使用することになった。装着時の口腔内写真(別冊午前 No.21)を別に示す。装置の効果を確認するための検査として適切なものはどれか。

- a 超音波検査
- b 改訂水飲みテスト
- c 鼻咽腔内視鏡検査
- d 反復唾液嚥下テスト

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 超音波検査は軟組織内の病変を検査するもので、鼻咽腔閉鎖不全に対する検査では行われない。
- × b 改訂水飲みテストは嚥下障害の評価を行う検査で、鼻咽腔閉鎖不全に対する検査ではない。
- c 嚥下時の鼻腔への逆流が主訴であること、使用する装置がパラタリフト(軟口蓋挙上装置)であることから、鼻咽腔閉鎖不全に関する検査が必要となる。鼻咽腔内視鏡検査は内視鏡を鼻腔内に挿入し、嚥下時に鼻咽腔の閉鎖状況を見る検査である。
- × d 反復唾液嚥下テストは嚥下障害の評価を行う検査で、鼻咽腔閉鎖不全に対する検査ではない。

正解 c

No.21



[問題 94] 摂食嚥下障害に対する間接訓練はどれか。2つ選べ。

- a 嚥下体操
- b 捕食訓練
- c 横向き嚥下
- d アイスマッサージ

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 嚥下体操は食事前の準備体操として行われ、全身や頸部の嚥下関連筋のリラクゼーションを図る間接訓練である。
- × b 捕食訓練は口唇を用いて食器具上の食物を摂り込む直接訓練である。
- × c 横向き嚥下は頸部回旋ともいい、回旋した側と逆側の咽頭通過が良くなることで咽頭残留を減らす直接訓練である。
- d アイスマッサージは凍らせた綿棒に水をつけて、前口蓋弓、舌根部、咽頭後壁の粘膜をマッサージすることで嚥下機能の改善を図る間接訓練である。

正解 a, d

DH19:P621

[問題 95] 79歳の女性。市町村が実施した介護予防教室で、頬の膨らまし運動が十分にできなかった。疑われるのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液分泌量低下
- b 口腔清掃状態不良
- c 口唇閉鎖機能低下
- d 鼻咽腔閉鎖機能低下

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 唾液分泌量の低下により、頬の膨らましに影響が出る可能性は低い。
- × b 口腔清掃状態と口腔機能の評価は必ずしも結びつかない。
- c 口腔機能の評価方法の1つに頬の膨らましテストがあり、これは頬の膨らまし状態を、左右十分可能・やや不十分・不十分の3段階で評価するものである。頬の膨らまし不十分な場合は口唇の閉鎖機能の低下、軟口蓋や舌後方の動きの低下が疑われる。
- d 頬の膨らまし不十分な場合、軟口蓋の動きの低下が疑われるため、鼻咽腔閉鎖機能を確認する。

正解 c, d

DH19:P622

[問題 96] 滅菌法と操作の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 乾熱滅菌 ————— 180℃、20秒以上
- b EOG滅菌 ————— 40～60℃、30分
- c 高圧蒸気滅菌 ————— 121℃、20分以上
- d 低温プラズマ滅菌 ——— 45℃、45～105分

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 乾熱滅菌は、160℃～200℃で、30分～2時間加熱する。
- × b EOG(エチレンオキシドガス)滅菌は、40～60℃で2～24時間行う。
- c 高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)は、121℃で20分間行う。
- d 低温プラズマ滅菌は、45℃、45～105分行う。

正解 c, d

DH19:P252

[問題 97] エアタービンの特徴はどれか。2つ選べ。

- a トルクが弱い。
- b 逆回転で使用できる。
- c 小型電気モーターが動力源である。
- d 300,000～500,000rpmで回転する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a トルクが弱いため、フェザータッチで使用する。
- × b 逆回転で使用できるのはマイクロモーターである。
- × c 小型電気モーターはマイクロモーターの動力源である。エアタービンは圧縮空気が原動力である。
- d 300,000～500,000rpmの高速回転である。

正解 a, d

[問題 98] セルフエッチングプライマーを用いた接着で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 疎水性モノマーを含む。
- b スミヤー層を除去できる。
- c ボンディング剤は不要である。
- d プライマー塗布後は乾燥させる。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 疎水性モノマーではなく、親水性モノマーを含んでいる。
- b スミヤー層は接着を妨げるため除去する必要があり、プライマーに組み込まれている。
- × c プライマー塗布後乾燥させた窩洞表面にボンディング剤の塗布が必要である。
- d プライマー塗布後はエアーで乾燥させる。

正解 b, d

DH19:P272 要点集 282:P17

[問題 99] 76歳の男性。部分床義歯の製作を希望して来院した。上顎左側側切歯に対し、ファイバーポストを用いた直接法による支台築造を行うことになった。処置中の口腔内写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

ポスト切断後、診療室で最初に行うポスト表面処理はどれか。

- a リン酸処理
- b フッ化水素酸処理
- c サンドブラスト処理
- d メタルプライマー処理

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 写真はファイバーポストをポスト孔に試適している状態である。ファイバーポストをポスト孔に試適し、**リン酸エッチング材**を塗布後、水洗・乾燥し、シランカップ剤処理剤を塗布してエアブローで均一な層にして乾燥する。

正解 a



No.22

[問題 100] 石膏の硬化膨張が大きくなるのはどれか。

- a 小さな混水比
- b 遅い練和速度
- c 過長な練和時間
- d 沸騰水での練和

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 小さな混水比は粉と液の反応が適切に進むため、硬化膨張が**大きくなる**。
- × b 練和速度が遅いと、反応が適切に進まないため、硬化膨張が**小さくなる**。
- × c 練和時間が一分を超えると反応が適切に進まず、成長した針状結晶が破壊されるため硬化膨張が**小さくなる**。
- × d 沸騰水での練和を行うと、石膏は硬化せず、硬化膨張は**小さくなる**。

正解 a

[問題 101] 28歳の女性。上顎左側第二小臼歯の歯肉腫脹を主訴として来院した。5年前に治療を受けたが、3か月前から歯肉が腫れてきたという。垂直打診で鈍痛がみられる。慢性化膿性根尖性歯周炎と診断された。瘻孔からガッタパーチャポイントを挿入した口腔内写真(別冊午前 No.23A)とエックス線写真(別冊午前 No.23B)を別に示す。

撮影の目的はどれか。

- a 患歯の同定
- b 根尖部の位置
- c 根尖病巣の有無
- d 歯髄の生死の確認

▶ 歯科診療補助

No.23 A



B



選択肢考察

- a ガッタパーチャポイントを挿入したエックス線写真から瘻孔の原因歯が同定でき、患歯が上顎第二小臼歯であることがわかる。
- × b 根尖部の位置は**エックス線撮影**で確認する。
- × c 根尖病巣の有無は**エックス線撮影**で確認する。
- × d 歯髄の生死の確認は、**歯髄電気診**や**温度診**で確認する。

正解 a

[問題 102] 歯科技工物の写真(別冊午前 No.24)を別に示す。

装着時に用いるのはどれか。

- a 水硬性セメント
- b 接着性レジンセメント
- c カルボキシレートセメント
- d グラスアイオノマーセメント

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b 写真の装置は**接着性ブリッジ**である。接着性ブリッジは舌側面の**エナメル質**を一層削除し装着するため、接着力の強い**接着性レジンセメント**を用いる。

正解 b

No.24



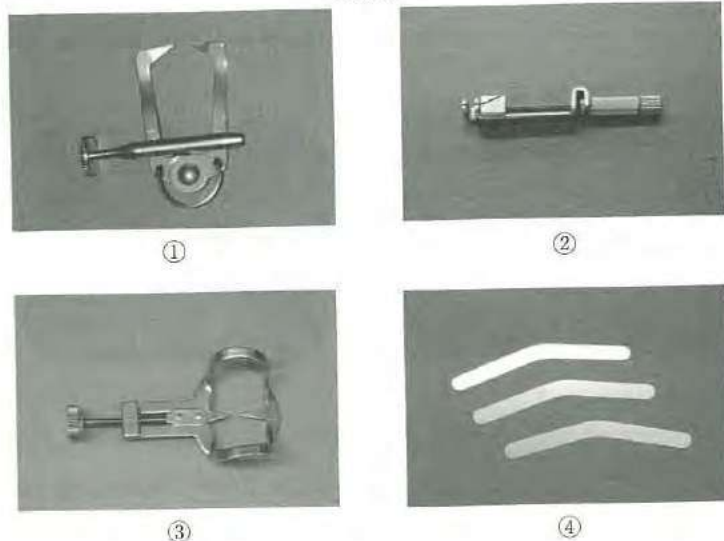
【問題 103】 器具の写真(別冊午前 No.25)を別に示す。

白歯部の歯間分離に用いるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.25



選択肢考察

- a ①はエリオット型セパレーターである。白歯部の歯間分離に用いる。
- × b、× d ②はトッフルマイヤーのリテーナーである。④のマトリックスバンドを固定し、隔壁を形成する。
- × c ③はアイボリー型セパレーターである。前歯部の歯間分離に用いる。

正解 a

📖 要点集 282:P14

【問題 104】 縫合針の形状と縫合部位の組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 丸針—— 顔面皮膚
- b 角針—— 口腔粘膜
- c 彎針—— 頬粘膜
- d 直針—— 歯間乳頭部

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 丸針は舌、頬粘膜、口底部などの軟らかい部位に用いる。
- × b 皮膚や角化の強い口蓋粘膜、また付着歯肉は針の刺入抵抗が強いため、角針を用いる。
- c 彎針は頬粘膜の縫合に適している。
- d 直針は歯間乳頭部の縫合に適している。

正解 c、d

【問題 105】 2歳から可能な小児への対応法はどれか。

- a TSD法
- b モデリング法
- c タイムアウト法
- d トークンエコノミー法

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a TSD (Tell - Show - Do) 法は、名前の通り「教えて・見せて・行わせる」方法である。そのため、ある程度の言語理解力(3歳以上)が必要となる。
- b モデリング法は、手本を見せて真似させたり、他人の行動を観察してその行動様式を学習する方法である。小児期には模倣行動がみられやすく、言葉を理解できなくても見て行えるので、理解力があまりない2歳からでも行うことができる。
- × c、× d タイムアウト法は、オペラント条件付け法の1つで望ましくない行為が生じたときにその場から引き離し、放置・孤立させることで、望ましくない行為を除去する方法である。なぜその場から引き離されたのかを理解できなければ効果がないため、3歳以上が対象となる。トークンエコノミー法は、逆に望ましい行為が生じたときにシール等の褒美(正の強化子)を与える方法である。これも同様に3歳以上が対象となる。

正解 b

📖 要点集 282:P63

【問題 106】 グラウンフォームを用いたコンポジットレジン修復で用いるのはどれか。

- a 金冠バサミ
- b ゴードンのプライヤー
- c セルロイドストリップス
- d エリオットのセパレーター

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 適切な大きさのクラウンフォームを選択した際、金冠バサミを用いて歯頸部の部分を適合させる。
- × b ゴードンのプライヤーは既製乳歯冠を用いた治療の際に使用する。
- × c セルロイドストリップスは、クラウンフォームを用いたコンポジットレジン修復では用いられない。
- × d エリオットのセパレーターは白歯の歯間分離に用いる。

正解 a

📖 要点集 282:P60

【要点】

現在ではクラウンフォームを用いた乳前歯被覆修復を行う方法が頻用されている。コンポジットレジンを用いた術式の概要は、①支台歯形成 → ②クラウンフォームの選択と調整 → ③酸処理 → ④水洗・乾燥 → ⑤ボンディング剤塗布 → ⑥クラウンフォームの切端部に小穴を作る → ⑦クラウンフォーム内にコンポジットレジンを充填(歯面にもコンポジットレジンを一層塗布)し、クラウンフォームを圧入、固定する → ⑧硬化後、クラウンフォームを除去し咬合調整する、の順である。

【問題 107】 Japan Coma Scale で評価するのはどれか。

- a 聴覚機能
- b 認知機能
- c 意識レベル
- d 身体活動性

▶ 歯科診療補助

選択肢考査

- × a 聴覚機能は聴覚検査、発声発語器官に関する検査、鼻咽腔閉鎖機能検査などで評価する。
- × b 認知機能は改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)や認知症高齢者の日常生活自立度で評価する。
- c 意識レベルは Japan Coma Scale (JCS) で評価する。
- × d 身体活動性は International Physical Activity Questionnaire (IPAQ) で評価する。

正解 c

① DH19:P727

【問題 108】 頭部エックス線規格写真で規格化するのはどれか。2つ選べ。

- a 拡大率
- b 撮影方向
- c 撮影時間
- d 被曝線量

▶ 歯科診療補助

選択肢考査

- a, b 頭部エックス線規格写真は、エックス線管球、頭部およびフィルムの方向と距離を一定に保って撮影することで、患者の頭部について定量的な評価が可能となる。従って拡大率と撮影方向は規格化されている。

正解 a, b

① 要点集 282:P48

【要点】

頭部エックス線規格写真は頭部を一定の幾何学的条件で撮影する方法であり、専用の患者固定用具を用いる。被写体の頭部の固定にはイヤーロッドを用い、フランクフルト平面と床面を平行にする。側面の撮影時には、頭部の正中矢状面とフィルムを平行に保ち、エックス線の中心線が左右のイヤーロッドの軸と平行になるように設定する。焦点正中矢状面間距離を 150cm、焦点フィルム間距離を 165cm とする。従って、正中矢状面の増大率は 1.1 倍の拡大率となる。

▶ 歯科診療補助

【問題 109】 入浴補助に使わないのはどれか。

- a スロープ
- b シャワーチェア
- c 柄の長いブラシ
- d リクライニング式車椅子

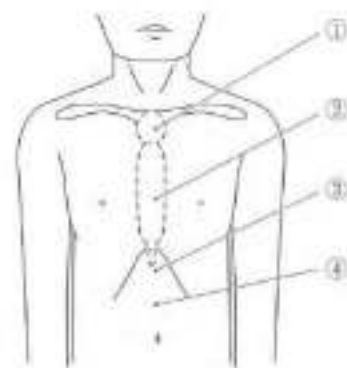
▶ 歯科診療補助

選択肢考査

- × a スロープは一般的に歩行や移動補助に用いられる。
- b シャワーチェアは名称通り、シャワー用の椅子である。
- c 上肢などの障害があり、足の先に手の届かない人が利用するブラシである。
- d リクライニング付きの入浴用車椅子もある。

正解 a

【問題 110】 30歳の男性。抜歯後にガーゼを噛み止血を行っていたところ、誤って経咽頭にガーゼが落下した。呼吸苦を訴えたためガーゼの除去を試みたが除去できず、意識が消失した。胸部から腹部にかけての模式図を示す。



適切な圧迫部位はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

選択肢考査

- × a ①は胸骨柄相当部である。
- b ②は胸骨の下半分(胸の真ん中が目安)であり、胸骨圧迫の際に圧迫する部分である。
- × c ③は剣状突起下方(みぞおちのやや下方)であり、腹部突き上げ法(ハイムリック法)の際に圧迫する。意識が消失した場合は胸骨圧迫を優先する。
- × d ④は臍相当部である。

正解 b

① 要点集 282:P74

[問題 1] 頭蓋側面の写真(別冊午後 No. 1)を別に示す。  
矢印が示す部位に付着する筋が停止するのはどれか。

- a 翼突窩
- b 咬筋粗面
- c 翼突筋窩
- d 翼突筋粗面

▶解剖学

選択肢考察

- × a 翼突窩は内側翼突筋の起始部である。
- × b 咬筋粗面は咬筋の停止部である。
- c 写真矢印は蝶形骨翼状突起外側板で、外側翼突筋の起始部である。外側翼突筋は、翼突筋窩、関節包、関節円板に停止する。
- × d 翼突筋粗面は内側翼突筋の停止部である。

正解 c

📖 要点集 281:P7

No. 1



[問題 2] 上顎骨にあるのはどれか。

- a 筋突起
- b 頬骨突起
- c 乳様突起
- d 翼状突起

▶解剖学

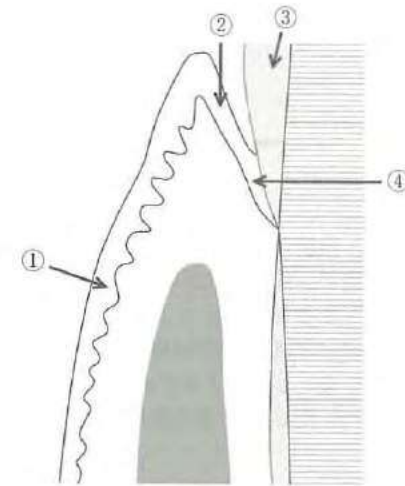
選択肢考察

- × a 筋突起は下顎骨にみられる構造で、側頭筋の停止部となる。
- b 頬骨突起は上顎骨にみられる構造で、頬骨弓を形成する。
- × c 乳様突起は側頭骨にみられる構造で、胸鎖乳突筋が付着する。
- × d 翼状突起は蝶形骨にみられる構造で、内側翼突筋・外側翼突筋の起始部となる。

正解 b

📖 要点集 281:P5、P6

[問題 3] 歯周組織の断面図を示す。



ステップリングがみられるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- a ①は付着歯肉である。ステップリングとは、正常な付着歯肉と歯間乳頭歯肉の表面にみられる小さなくぼみの中で、歯肉に炎症が起こると消失する。ステップリングは歯間乳頭歯肉の一部に存在するが、多くは付着歯肉である。
- × b ②は歯肉溝上皮である。
- × c ③はエナメル質である。
- × d ④は付着上皮(接合上皮)である。

正解 a

📖 要点集 282:P20

【問題 4】歯根膜にみられないのはどれか。

- a 破骨細胞
- b 骨芽細胞
- c 象牙質細胞
- d セメント芽細胞

▶生物学

選択肢考案

- a 破骨細胞は歯根膜の細胞成分で、歯槽骨表面のハウシツブ窩にみられる巨大多核細胞である。
- b 骨芽細胞は歯根膜に存在する細胞で、歯槽骨表面にみられ骨を形成する。
- ×c 象牙質細胞は歯髄内の象牙質直下にみられる。
- d セメント芽細胞は歯根膜中のセメント質表面にみられ、セメント質を形成する。

正解 c

◎ 要点集 281:P14

【問題 5】血液を血清と混和した結果の写真(別冊午後 No. 2)を別に示す。

- 血液型はどれか。
- a A 型
  - b B 型
  - c AB 型
  - d O 型

▶生物学

選択肢考案

- a A 型の血液は、B 型血清でのみ凝集反応を示す。
- ×b B 型の血液は、A 型血清でのみ凝集反応を示す。
- ×c AB 型の血液は、A 型血清および B 型血清の両方で凝集反応を示す。
- ×d O 型の血液は、凝集反応を示さない。



【参考】

ABO 式血液型は、赤血球表面に存在する糖脂質抗原(凝集原)とその抗体から、A 型、B 型、AB 型および O 型に分類される。

- ・A 型は赤血球表面に A 抗原が存在し、血清中に B 抗原に対する抗体が存在する。
- ・B 型は赤血球表面に B 抗原が存在し、血清中に A 抗原に対する抗体が存在する。
- ・O 型は赤血球表面に A 抗原、B 抗原は存在しない。血清中には A 抗原、B 抗原それぞれに対する抗体が存在する。
- ・AB 型は赤血球表面に両方の抗原(A 抗原および B 抗原)が存在し、血清中の抗体形成はない。写真では、B 型血清(抗 A 血清)でのみ凝集している。

正解 a

◎ DH19:P47

【問題 6】必須アミノ酸はどれか。

- a グリシン
- b メチオニン
- c グルタミン酸
- d アラキドン酸

▶生物学

選択肢考案

- ×a グリシンはコラーゲンを構成する主要なアミノ酸で、全体の約 1/3 を占めるが、必須アミノ酸ではない。
- b 必須アミノ酸とは、生体内で合成することのできないアミノ酸で、9 種類のアミノ酸がある。メチオニンは必須アミノ酸の 1 つであり、食物から摂取しなければならない。
- ×c グルタミン酸は酸性アミノ酸で、Ca 親和性をもつアミノ酸である。
- ×d アラキドン酸は細胞膜を構成する不飽和脂肪酸で、必須脂肪酸の 1 つである。

正解 b

◎ 要点集 281:P51

【問題 7】唾液成分とその機能の組合せで正しいのはどれか。

- a 重炭酸塩 —— 抗菌作用
- b ヒスタチン —— 抗菌作用
- c リゾチーム —— 殺菌作用
- d ステレリン —— 消化作用

▶生物学

選択肢考案

- ×a 重炭酸塩 ( $\text{HCO}_3^- - \text{H}_2\text{CO}_3$ ) は緩衝作用を有する。
- b ヒスタチンはヒスタチンを多く含有するペプチドであり、抗菌作用を有する。
- ×c リゾチームは細菌の細胞壁に存在するペプチドグリカン加水分解する酵素であり、殺菌作用を有する。殺菌作用はない。
- ×d ステレリンは Ca 親和性をもつタンパクで、歯の再石灰化に関与する。

正解 b

◎ 要点集 281:P24

【問題 8】 下顎の減形成による小顎症を呈するのはどれか。

- a シェーグレン症候群
- b ビエール・ロバン症候群
- c パピヨン・ルフェーブル症候群
- d メルカーソン・ローゼンタール症候群

▶病理学

選択肢考察

- × a シェーグレン症候群は、乾燥性角結膜炎(ドライアイ)と口腔乾燥(ドライマウス)などの乾燥症状を主徴とする症候群で、唾液腺および涙腺をはじめとする全身の外分泌腺に組織傷害が生じる自己免疫疾患である。
- b ビエール・ロバン症候群は、下顎の減形成による小顎症、下顎後退症が特徴的で、鼻軟骨形成を呈する。
- × c パピヨン・ルフェーブル症候群は、常染色体劣性遺伝で、掌と足底の慢性角化と重度の歯周炎がみられる。
- × d メルカーソン・ローゼンタール症候群は、顔面神経麻痺、流涎症、肉芽腫性口唇炎を三徴候とする疾患である。

正解 b

【問題 9】 急性う蝕の特徴はどれか。

- a 着色が多い。
- b 自発痛を伴う。
- c 環状に進行する。
- d 穿通性に進行する。

▶病理学

選択肢考察

- × a 着色は少なく、軟化象牙質の量が多い。
- × b う蝕は硬組織疾患のため、自発痛の有無は関係ない。
- × c 環状に進行するのは根面う蝕の特徴である。エナメル質う蝕や象牙質う蝕では、う蝕円錐を形成する。
- d 急性う蝕は穿通性に、慢性う蝕は穿下性に進行する。

正解 d

◎ 要点集 281:P46

【問題 10】 肉芽組織を構成するのはどれか。

- a 脂肪細胞
- b 軟骨細胞
- c 象牙牙細胞
- d 線維芽細胞

▶病理学

選択肢考察

- d 肉芽組織は、組織損傷後の治療過程や慢性炎症病巣で生じる組織であり、新生血管と線維芽細胞を豊富に含む。構成細胞は血管内皮細胞や線維芽細胞で、免疫細胞である好中球やリンパ球の浸潤を認める。

正解 d

◎ 要点集 281:P43

【問題 11】 I型アレルギーの原因となるのはどれか。

- a チタン
- b ニッケル
- c ラテックス
- d アルジネート

▶免疫生物学

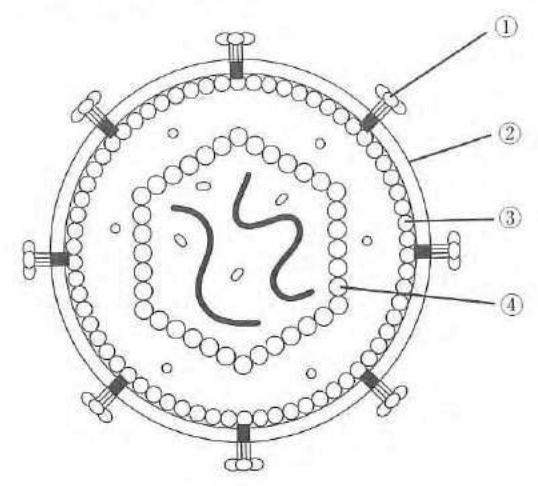
選択肢考察

- × a チタンは金属の中では最も生体親和性が高く、アレルギーは起こりにくい。
- × b ニッケルで起こるアレルギーはIV型(遅延型)アレルギーである。
- c I型アレルギーは、IgEが肥満細胞や好塩基球に結合し、ヒスタミンやセロトニンを放出することにより血管収縮や血管透過性亢進などが生じ、浮腫、掻痒などの症状があらわれる即時型アレルギーである。天然ゴム製品(ラテックス)に接触することによって起こる。蕁麻疹や喘息発作などの即時型アレルギー反応を、ラテックスアレルギーとよぶ。
- × d アルジネートはアレルギーの原因となりにくい。

正解 c

◎ 要点集 281:P31

【問題 12】 レトロウイルス粒子の基本構造である。



カプシドタンパクはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶微生物学

選択肢考察

- × a ①は受容体との結合に働くタンパク(スパイク)である。
- × b ②は脂質二重層からなるエンベロープである。
- × c ③はエンベロープを裏打ちするマトリックスタンパクである。
- d ④はRNAゲノムを囲むカプシドタンパクである。

正解 d

要点集 281:P36

【問題 13】 ステロイド性抗炎症薬はどれか。

- a アスピリン
- b ペニシリン
- c リドカイン
- d トリアムシノロン

▶薬理学

選択肢考察

- × a アスピリンは非ステロイド性抗炎症薬で、シクロオキシゲナーゼを阻害し抗炎症作用を発揮する。
- × b ペニシリンはβラクタム系抗菌薬で、細菌細胞壁の合成を阻害する。
- × c リドカインはアミド型局所麻酔薬で、ナトリウムチャネルを遮断することで、痛みの伝導を遮断する。
- d トリアムシノロンはステロイド性抗炎症薬で、ホスホリパーゼA<sub>2</sub>を阻害し、アラキドン酸遊離を抑制する。

正解 d

要点集 281:P64

【問題 14】 処方せんの記載事項はどれか。

- a 患者の年齢
- b 患者の住所
- c 患者の職業
- d 患者の個人番号

▶薬理学

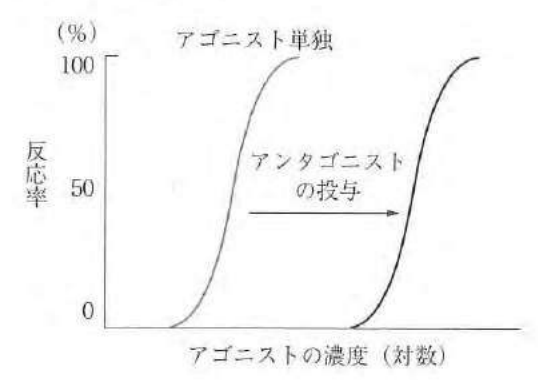
選択肢考察

- a 処方せんの記載事項は、歯科医師法によって以下のように規定されている。  
「歯科医師は、患者に交付する処方せんに、患者の氏名、年齢、薬名、分量、用法、用量、発行の年月日、使用期間及び病院若しくは診療所の名称及び所在地又は歯科医師の住所を記載し、記名押印又は署名しなければならない。」

正解 a

要点集 281:P58

【問題 15】 薬物の用量・反応関係を図に示す。



図が示す薬物の併用効果はどれか。

- a 相加作用
- b 相乗作用
- c 競合的拮抗
- d 非競合的拮抗

▶薬理学

選択肢考察

- × a 相加作用は、薬物を併用したときの効果がそれぞれの薬物の効力の和に等しい場合である。
- × b 相乗作用は、薬物を併用したときの効果が薬物の効力の和よりも大きい場合である。
- c 図は競合的拮抗である。2種類の薬物が同じ作用部位あるいは受容体に対して競合する場合で、アゴニストの濃度を増加させると、作用が回復する。競合的拮抗では、用量反応曲線は右方に移動する。
- × d 非競合的拮抗は、2種類の薬物が異なる部位に作用して、アゴニストの作用を減弱させる場合である。非競合的拮抗では、アゴニストの濃度を増加させても、その作用は完全には回復しない。

正解 c

【問題 16】  に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

- ① はブラッシングで除去できる。  
 ② はジェット水流器で除去できる。  
 ③ は歯面から除去してもすぐ付着する。
- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| ①      | ②     | ③     |
| a 歯垢   | 食物残渣  | 外来性色素 |
| b 歯垢   | 食物残渣  | ペリクル  |
| c 食物残渣 | 歯垢    | ペリクル  |
| d 食物残渣 | 外来性色素 | 歯垢    |

▶口腔衛生学

解説

- b ①:歯面に粘着している歯垢は、自浄作用や洗口によっては除去できず、ブラッシングによって除去できる。  
 ②:歯面への沈着物のうち、マテリアアルバ、食物残渣については洗口によって除去可能である。したがってジェット水流器によって除去できる。  
 ③:ペリクルは、自浄作用ならびに洗口はもとより、通常のブラッシングによっても除去されにくい。専門家による歯の歯口清掃によってはじめて除去できるが、唾液に触れるとすぐに形成される。

正解 b

【問題 17】 知覚過敏抑制を目的に歯磨剤に配合されるのはどれか。2つ選べ。

- a 硝酸カリウム  
 b 塩化ナトリウム  
 c 乳酸アルミニウム  
 d 塩化セチルピリジニウム

▶口腔衛生学

解説

- a 硝酸カリウムには歯髄神経鎮痛作用があり、知覚過敏抑制を目的に配合される薬効成分である。  
 ×b 塩化ナトリウムには粘着の収斂作用があり、歯垢の手防を目的として配合される薬効成分である。  
 ○c 乳酸アルミニウムには象牙細管を閉塞させる作用があり、知覚過敏抑制を目的に配合される薬効成分である。  
 ×d 塩化セチルピリジニウムには殺菌作用があり、う蝕予防や歯周病予防を目的として配合される薬効成分である。

正解 a, c

④ DH19:P122

【問題 18】 口腔細菌の代謝産物でう蝕発生に関与するのはどれか。2つ選べ。

- a 炭酸  
 b 乳酸  
 c 酢酸  
 d リン酸

▶口腔衛生学

解説

- b, c う蝕発生に関与する菌は、代謝産物として乳酸や酢酸、リン酸を産生し、歯質を脱灰する。

正解 b, c

④ 要典集 281:P41

【問題 19】  に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

口臭症の主な原因物質は  であり、官能試験やガスクロマトグラフィーで判定することができる。また糖尿病の患者では  臭がある。

- |          |       |   |
|----------|-------|---|
|          | ①     | ② |
| a 有機酸    | アンモニア |   |
| b 有機酸    | アセトン  |   |
| c 揮発性硫化物 | アセトン  |   |
| d 揮発性硫化物 | アンモニア |   |

▶口腔衛生学

解説

- c ①:種々ある口臭物質の中で、揮発性硫化物は少量でも比較的臭気強い。そのため、口臭症の主な原因物質とされている。これには硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドがある。  
 ②:全身的な原因による病的口臭もあり、鼻咽喉疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、血液疾患の患者にみられる。糖尿病患者では、アセトン臭のあることが特徴である。

正解 c

④ 要典集 281:P115

[問題 20] ある年度の5歳以上の被検者数、永久歯の健全歯数、D歯数、M歯数およびF歯数が判明している。

算出できるのはどれか。2つ選べ。

- a DF者率
- b DMF者率
- c DMF歯率
- d DMFT指数

▶口腔衛生学

選択肢考察

× a  $DF者率 = \frac{DFのいずれか1歯以上をもつ者の数}{被検者数} \times 100(\%)$

であり、分子が不明なため算出できない。

× b  $DMF者率 = \frac{DMFのいずれか1歯以上をもつ者の数}{被検者数} \times 100(\%)$

であり、分子が不明なため算出できない。

○ c  $DMF歯率 = \frac{DMF歯数の合計}{被検永久歯数(M歯を含む)} \times 100(\%)$

であり、分母はDMF歯数の合計に永久歯の健全歯数を加えれば求めることができるので算出できる。

○ d  $DMFT指数 = \frac{DMF歯数の合計}{被検者数}$

であり、算出できる。

正解 c, d

DH19:P116、P117

[問題 21] リスク因子の解析で、コホート研究に比べて患者対照研究が適しているのはどれか。

- a う蝕
- b 歯肉癌
- c 歯周炎
- d 歯の喪失

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b 患者対照研究は、問題となる疾病がある人(患者群)と、その疾病がない人(対照群)の2群を設定し、患者群と対照群のある要因の曝露の程度を比較することで、疾病発生に対する寄与因子の関連性を比較検討する後向き研究である。一方、コホート研究はある特定の集団を経時的に追跡し、その集団からどのような疾病・死亡が起こるかを観察して、要因と疾病との関連性を明らかにする研究である。コホート研究は、一般的には前向き研究(前向きコホート研究)である。発生頻度の低い疾患をコホート研究で行うとすると、発生頻度が低いほど対象集団を大きくしなければならず、経費や労力がかかるため、発生頻度の低い疾患には患者対照研究が適している。選択肢の疾患のうち、発生頻度が最も低いのは歯肉癌である。

正解 b

DH19:P213

[問題 22] 検診等と根拠法令の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 骨粗鬆症検診 —— 健康増進法
- b 特殊健康診断 —— 労働基準法
- c 特定健康診査 —— 地域保健法
- d 妊産婦健康診査 —— 母子保健法

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 健康増進法では市町村による健康増進事業として、**歯周疾患検診・骨粗鬆症検診・肝炎ウイルス検診・特定健康診査非対象者に対する健康診査・がん検診**の各事業が規定されている。
- × b 特殊健康診断とは、労働衛生対策上特に有害であるといわれている業務に従事する労働者等を対象として実施する健康診断で、労働安全衛生法で規定されている。
- × c 特定健康診査とは、**高齢者の医療の確保に関する法律**に基づいて、40歳から74歳までの医療保険被保険者、被扶養者を対象に実施される、メタボリックシンドロームに着目した健診である。
- d 母子保健法では、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療その他の措置を講じることが規定されている。

正解 a, d

DH19:P192

[問題 23] 間違った操作をした際にも安全が保たれるようなシステムはどれか。

- a フェイルセーフ
- b ダブルチェック
- c クリニカルパス
- d インシデントレポート

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a フェイルセーフとは、システムにおいて誤操作・誤動作による障害が発生した場合に常に安全側に制御される仕組みのことで、医療機器に備わっていることが望ましい。
- × b ダブルチェックとは、医療事故を防止するために実施する二重の確認のことをいい、多くの医療現場で導入されている。2名で同時に確認する方法や、1名によるチェックの後、他者が時間差で確認するなど、いくつかの方法が知られている。
- × c クリニカルパスは検査・治療・処置・看護・リハビリなどの一連の医療行為の流れを入院から退院までの時間軸に沿って立案・整理した診療スケジュール表のことで、医療の質の確保・医療費の抑制につなぐことができると考えられている。
- × d 医療行為の過失はあったが、結果として事故には至らなかったものをインシデント(ヒヤリ・ハット事例)というが、その報告書が**インシデントレポート**であり、院内の医療安全対策室などで収集・管理し、原因究明や再発防止に利用される。

正解 a

【問題 24】 労働衛生管理のうち作業環境管理はどれか。2つ選べ。

- a 曝露時間の軽減
- b 局所排気装置の設置
- c 特殊健康診断の実施
- d 気中有害物質濃度の測定

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 曝露時間の軽減は**作業管理**である。
- b 局所排気装置の設置は、作業をする場所についての管理であり、**作業環境管理**に該当する。
- × c 特殊健康診断の実施は**健康管理**である。
- d 気中有害物質濃度の測定は、作業をする場所についての管理であり、**作業環境管理**に該当する。

正解 b、d

【問題 25】 介護給付費（利用者負担を除く）における公費の負担割合はどれか。

- a 10%
- b 20%
- c 30%
- d 50%

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- d 要介護認定を受けた被保険者が利用する介護保険サービスの費用（介護給付費）は、原則としてかかった費用の1割をサービス利用者が負担する。ただし、平成27年8月より、一定以上の所得がある被保険者は利用者負担が2割となり、平成30年8月からは、特に所得の高い被保険者は3割負担となった。また、介護保険の財源は下図のように、国（国庫負担金+調整交付金）・県・市町村の公費（税金）と、40歳以上の被保険者が支払う介護保険料等でまかなわれている。

◎ 介護保険制度の財政構成



正解 d

【問題 26】 平成28年歯科疾患実態調査による「現在歯の乳歯にう歯を持つ者の割合」で6歳児はどれか。

- a 8.6%
- b 36.0%
- c 39.0%
- d 45.5%

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- d 歯科疾患実態調査は、わが国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、昭和32年より6年ごとに実施されてきたが、平成23年以降は5年ごとに実施されている。

◎ う歯を持つ者の割合の年次推移（乳歯：1～14歳）

年齢(歳)	平成5年 (1993年)	平成11年 (1999年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成28年 (2016年)
1	8.3	1.2	3.1	0.0	0.0
2	32.8	21.5	17.8	7.5	7.4
3	59.7	36.4	24.4	25.0	8.6
4	67.8	41.5	44.2	34.8	36.0
5	77.0	64.0	60.5	50.0	39.0
6	88.4	78.0	63.4	42.1	45.5
7	90.5	78.0	67.3	55.6	35.3
8	91.1	85.9	61.7	69.2	55.8
9	91.5	79.8	72.1	46.7	65.6
10	66.9	60.7	62.5	52.1	27.3
11	47.1	41.3	38.3	26.3	28.1
12	20.3	12.5	17.1	27.0	3.4
13	7.1	9.2	2.4	14.3	11.1
14	3.0	1.4	3.2	0.0	0.0

注)平成5年(1993年)以前、平成11年(1999年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる。

正解 d

【問題 27】 児童虐待の防止等に関する法律に基づき、虐待を受けたと思われる児童を発見した際の通告先として規定されているのはどれか。2つ選べ。

- a 警察署
- b 教育委員会
- c 児童相談所
- d 福祉事務所

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- c、d 児童虐待防止法では、児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待の早期発見の努力義務があることを明記し、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する**福祉事務所**若しくは**児童相談所**又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならないと規定している。

正解 c、d

DH19:P189

午前問題  
午後問題  
午前問題  
午後問題  
歯内療法  
保存療法  
歯周疾患  
歯科補綴  
歯科矯正  
小児歯科  
口腔外科  
放射線

[問題 28] ヘルスプロモーション活動はどれか。

- a がん検診の実施
- b 予防接種の推進
- c ウォーキングイベントの開催
- d 摂食・嚥下リハビリテーションの実施

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- c ヘルスプロモーションは、人々の健康の維持・増進のための活動・戦略である。WHO の定義では「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」とされている。この定義はその後、2005 年のバンコク憲章で「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにする過程」と変更されている。また、ヘルスプロモーションの特徴として最も重要なのが「主役は住民」であり、彼らの毎日の生活に着目し、健康づくりは人々の生活の場でやっていくということである。プロモーション活動の内容として、(1) **新しい健康観の普及**、(2) 「ヘルスサポーター21」事業の実施、(3) **全国各地を移動しながらのウォーキングイベントの開催**などがある。

正解 c

DH19:P165

[問題 29] 母子保健法に基づいて市町村が実施するのはどれか。2つ選べ。

- a 自立支援医療
- b 児童虐待への対策
- c 母子健康手帳の交付
- d 1歳6か月児健康診査

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 自立支援医療は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に基づいて行われる。この自立支援医療制度は、心身の障害を除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度である。
- × b 児童虐待への対策は「児童福祉法」、「児童虐待の防止等に関する法律」に盛り込まれている。
- c 市町村は、妊娠の届出をした者に対して**母子健康手帳**を交付しなければならないと規定されている。
- d 市町村は、**1歳6か月児**及び**3歳児**に対して健康診査を行わなければならないと規定されている。

正解 c、d

[問題 30] 歯科衛生士が行う歯科保健指導はどれか。2つ選べ。

- a 間食指導
- b 歯口清掃指導
- c 小窩裂溝填塞
- d フッ化物歯面塗布

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、○ b 間食指導、歯口清掃指導は**歯科保健指導**である。
- × c、× d フッ化物歯面塗布、小窩裂溝填塞は**歯科予防処置**である。

正解 a、b

[問題 31] 歯科衛生士法と歯科医師法に共通しているのはどれか。

- a 守秘義務
- b 品位の保持
- c 歯科衛生士の業務
- d 処方せんの交付義務

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 守秘義務は歯科医師法とは異なり、歯科衛生士法では記載があり、第13条の5に記載されている。歯科医師の守秘義務については、刑法に記載されている。
- b 品位の保持は歯科衛生士法では第8条に、歯科医師法では第7条に記載されている。
- × c 歯科衛生士の業務に関しては歯科衛生士法第2条に記載されている。
- × d 処方せんの交付義務は歯科医師法第21条に記載されている。

正解 b

【問題 32】 患者が医療機関で診断を受けた内容について、他の医療機関で確認する権利を持つことを明記しているのはどれか。

- a リスボン宣言
- b ジュネーブ宣言
- c ヘルシンキ宣言
- d ヒポクラテスの誓い

▶ 歯科衛生士概論

解説

- a リスボン宣言は、第34回世界医師会総会で採択された患者の権利に関する宣言である。個別的な医療関係において患者自身の主体性を強調するという観点から、患者の人格が尊重されるとともに、患者が自らの意思と選択のもとに最善の医療を受けることができるという、患者としての権利を、特に「患者の権利」と言っている。
- × b ジュネーブ宣言は、ヒポクラテスの誓いをもとに、現代に即した医の倫理に関するパターナリズムの倫理規範である。
- × c ヘルシンキ宣言は、ニュルンベルク綱領をもとに、被験者の人格尊重など医学研究における規定を宣言したものである。被験者のインフォームド・コンセントの重要性の強調である。
- × d ヒポクラテスの誓いは、医者の心構えである。患者を傷つけない、差別しない、秘密を守る等のパターナリズムの倫理規範である。

正解 a

◎ DH19:P218

【問題 33】 診療記録で5年間の保存義務があるのはどれか。2つ選べ。

- a 診療録
- b 歯科技工指示書
- c 歯科衛生士業務記録
- d 学校歯科健康診断票

▶ 歯科衛生士概論

解説

- a 診療録は、歯科医師法で診療終了時から5年間の保存が義務付けられている。
- × b 歯科技工指示書は、歯科技工士法で歯科技工終了時から2年間の保存が義務付けられている。
- × c 歯科衛生士業務記録は、歯科衛生士法で3年間の保存が義務付けられている。
- d 学校歯科健康診断票は、学校保健安全法により5年間の保存が義務付けられている。

正解 a, d

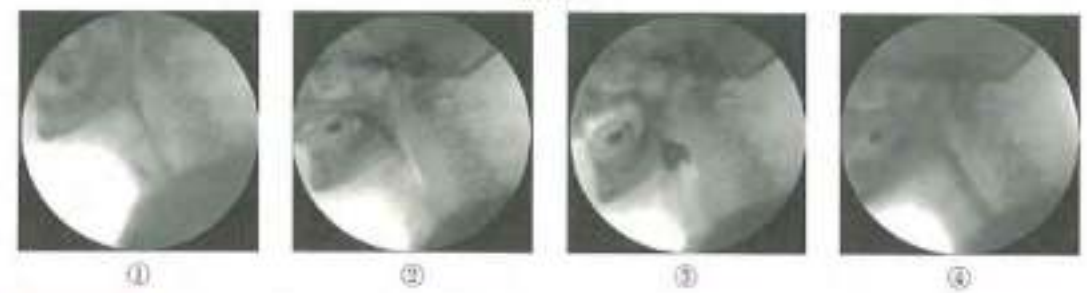
◎ DH19:P226

【問題 34】 嚥下造影検査の画像(別冊午後 No.3)を別に示す。誤嚥を認めるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科臨床の基礎

No.3



解説

- a ①は気道に飲食物が侵入しており、誤嚥を認める。
- × b ②は食物がまだ中咽頭にあり、この状態では誤嚥しているかの鑑別はできない。
- × c ③は喉頭蓋下に食物が残留している状態であり、誤嚥は認められない。
- × d ④は正常嚥下の状態である。

正解 a

【参考】

嚥下造影検査(VF)は摂食嚥下機能を評価する精密検査の1つである。VFはエックス線透視装置を使用して造影剤(主に硫酸バリウム)を含んだ検査食を摂食させ、口腔から咽頭、食道にかけて観察する。検査の目的は形態的異常、機能的異常、誤嚥、咽頭残留などを明らかにし、その結果から食形態や体位、摂食方法などを調整し、誤嚥や咽頭残留を減らすことである。

【問題 35】 白歯部に適応されるのはどれか。2つ選べ。

- a ビンレッジ
- b 3/4クラウン
- c 陶材焼付金属冠
- d プロキシマルハーフクラウン

▶ 歯科臨床の基礎

解説

- × a, × b ビンレッジ、3/4クラウンは歯冠部に適応される。
- c 陶材焼付金属冠は前歯、白歯ともに適応される。
- d プロキシマルハーフクラウンは白歯部に適応される。

正解 c, d

◎ 要点集 782:P38

【問題 36】 歯内-歯周疾患の鑑別診断で重要なものはどれか。

- a 打診
- b 歯髄電気診
- c 動揺度検査
- d インピーダンス検査

▶ 歯科臨床の基礎

解説の要点

- × a 根尖性歯周炎でも歯肉病でも打診痛が生じることがある。
- b 歯内-歯周疾患は、原因が歯内疾患にあるのか、歯周炎にあるのかを診断することが必要である。歯内疾患が原因の場合には歯髄は失活しており根尖性歯周炎を併発している。歯髄が生活している場合には原因は歯周炎である。歯周炎が初発原因であった場合にも、上行性歯髄炎から歯髄壊死になり根尖性歯周炎を併発することがある。従って、歯髄の生死の検査方法の一つである歯髄電気診は、歯内-歯周疾患の鑑別診断に重要である。また、歯周ポケット検査、エックス線検査も必要となる。
- × c 根尖性歯周炎でも歯周炎でも歯の動揺がみられることがある。
- × d 歯質の残存量などを測定するインピーダンス検査は歯内-歯周疾患の鑑別診断には必要ではない。

正解 b

【問題 37】 抜歯中に患者が昏厥、血圧低下および顔面蒼白をきたした。

最初に行う対応はどれか。

- a 胸骨圧迫を行う。
- b 静脈路確保を行う。
- c 意識と呼吸の確認をする。
- d アドレナリンを投与する。

▶ 歯科臨床の基礎

解説の要点

- × a 無呼吸の場合、胸骨圧迫を行う必要がある。
- × b 意識と呼吸を確認し、ショック体位と酸素吸入を行った後に静脈路を確保する。
- c 患者は昏厥、血圧低下および顔面蒼白を呈していることから、**血管迷走神経反射**である。意識と呼吸の確認後、意識が消失している場合には患者を**ショック体位**(または水平仰臥位)にし、気道確保、酸素吸入を行うことによって通常数分以内に回復する。
- × d アドレナリンは心停止の際に、静脈内投与される。

正解 c

◎ 要点集 282:P73

【問題 38】 31歳の男性。下顎左側第一小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。検査の結果、コンポジットレジン修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 4)を別に示す。処置に際しまず用いるのはどれか。

- a ウェッジ
- b 圧排用綿糸
- c サービカルマトリックス
- d アイボリーのセパレーター

▶ 保存修復学

No. 4



- × a う窩が頸部の歯肉縁下に凝がっているため、歯間の歯肉を排除するだけでは不十分である。
- b 歯肉圧排用綿糸を用いて、歯肉縁下のう窩を直視可能な状態にする。
- × c サービカルマトリックスは、コンポジットレジンの充填時に用いる。
- × d アイボリーのセパレーターは前歯部の歯間隙閉鎖に用いる。う窩が隣接面には及んでいないため、歯間隙閉鎖は不要である。

正解 b

◎ 要点集 282:P14

【問題 39】 50歳の女性。上顎右側側切歯の審美不良を主訴として来院した。10年前に修復処置を受けたが、1年前から気になっていたという。特に症状はない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 5)を別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 磨耗
- b 過剰充填
- c 口腔清掃不良
- d コントラクションギャップ

▶ 保存修復学

No. 5



- × a 磨耗が原因で設問のような病徴が認められることはない。
- b コンポジットレジン修復の審美不良の原因として、**辺縁不適合**、二次う蝕、高度な磨耗、修復物の体部破折や亀裂、修復物の脱落、色調不良などがある。設問は上顎右側側切歯に一部病徴が認められ、それが審美不良の原因となっている。コンポジットレジンの過剰充填による経年的な辺縁部着色が審美不良の原因である。
- × c 口腔清掃不良が原因として二次う蝕が認められることが多いが、写真のような病徴は認められない。
- × d コントラクションギャップはコンポジットレジンの**重合収縮**が原因であり、修復物の周囲に均一な白線として認められる。

正解 b

◎ DH19:P273

[問題 40] 根管消毒に用いるのはどれか。

- a ホルムクレゾール
- b フッ化ナトリウム
- c フッ化ジアンミン銀
- d 次亜塩素酸ナトリウム

▶ 歯内療法

選択肢考察

- a ホルムクレゾールは**根管消毒薬**である。
- × b フッ化ナトリウムは**歯質の強化**を目的とする。
- × c フッ化ジアンミン銀は**う蝕の進行抑制**を目的とした薬剤である。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムには**有機質溶解作用**があり、根管清掃では過酸化水素水と併用し交互洗浄に用いられる。

正解 a

📖 要点集 282:P8

[問題 41] 急性化膿性歯髄炎でみられるのはどれか。

- a 体温の上昇
- b 象牙質橋の形成
- c 温刺激による疼痛
- d 歯髄ポリープの形成

▶ 歯内療法

選択肢考察

- × a 急性化膿性歯髄炎で発熱は認められない。根尖性歯周炎では認められることがある。
- × b 象牙質橋は、**直接覆髄法**や**生活歯髄切断法**後に形成される。
- c 急性化膿性歯髄炎は、主にう蝕が原因で歯髄に細菌感染が生じたことにより歯髄に生じた急性炎症である。一部性の場合、限局性の痛み、冷温刺激により痛みが増す。全部性の場合には、放散性の痛みが生じ、**温刺激**で痛みは増すが、冷刺激で痛みが緩解する。
- × d 歯髄ポリープは、**慢性増殖性歯髄炎**で露髄面に形成される**肉芽組織**である。

正解 c

📖 要点集 282:P3

[問題 42] ペリオドンタルメディシンに関わる疾患はどれか。2つ選べ。

- a 肝 炎
- b 糖尿病
- c 胃潰瘍
- d 早産・低体重児出産

▶ 歯内療法

選択肢考察

- b、d 全身疾患が歯周病のリスクファクターになっている一方、逆に歯周病が全身疾患のリスクファクターになる可能性も示唆されており、両者には双方向性が存在する。このような歯周病が全身疾患との相互関係を研究する分野をペリオドンタルメディシンという。ペリオドンタルメディシンには、糖尿病、呼吸器感染症、心臓血管疾患、早期低体重児出産、骨粗鬆症、肥満などがある。

正解 b、d

[問題 43] 40歳の男性。歯肉の出血と痛みを主訴として来院した。数日前からブラッシング時に激痛があるという。昨夜から38℃の発熱と倦怠感があり、家族から口臭があるとされたという。初診時の口腔内写真(別冊午後No.6)を別に示す。

この疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 家族内集積
- b ストレスの関与
- c 灰白色の偽膜形成
- d ホルモンバランスの異常

▶ 歯周治療学

選択肢考察

- × a 家族内集積は、**侵襲性歯周炎**の特徴である。
- b 写真は**壊死性潰瘍性歯周炎**である。精神的ストレスや疲労、喫煙が原因として考えられている。
- c 壊死性潰瘍性歯周炎では、潰瘍部に灰白色の**偽膜**が形成される。
- × d ホルモンバランスの異常は、**慢性剥離性歯肉炎**の特徴である。

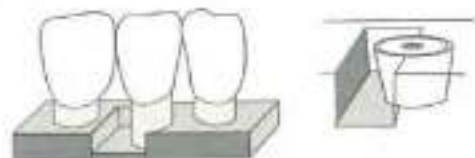
正解 b、c

No. 6



📖 要点集 282:P29

【問題 44】 歯槽骨吸収の模式図を示す。



骨欠損の分類はどれか。

- a 1 齶性
- b 2 齶性
- c 3 齶性
- d 4 齶性

▶ 歯周治療学

解説

- b 骨欠損の分類では、歯根に対して残存している骨の層数によって1齶性から4齶性に分類される。図は2齶残存している。

正解 b

◎ 要典集 282:P25

【問題 45】 60歳の女性。下顎右側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。10年前、**①**に全部金属冠を装着したが、1か月前から歯肉が腫脹し、咀嚼時に疼痛があるという。全部金属冠を除去した時のエックス線写真(別冊午後 No. 7 A)とある処置をした後の口腔内写真(別冊午後 No. 7 B)とを別に示す。

行った処置はどれか。

- a ヘミセクション
- b トライセクション
- c ルートセパレーション
- d アペキシフィケーション

▶ 歯周治療学

解説

- a エックス線写真から、近心根に垂直性骨吸収がみられ、ほぼ歯槽骨が残っていないことがわかる。また術後の口腔内写真で近心の前冠がないことから、ヘミセクション(近心あるいは遠心のみ除去する方法)が行われた。
- × b トライセクションは上顎に対する方法である。
- × c ルートセパレーションは、根分岐部病変がみられる場合に、近遠心根を分離し保存する方法である。
- × d アペキシフィケーションは、失活した幼若永久歯に対する処置法である。

正解 a

◎ 要典集 282:P10

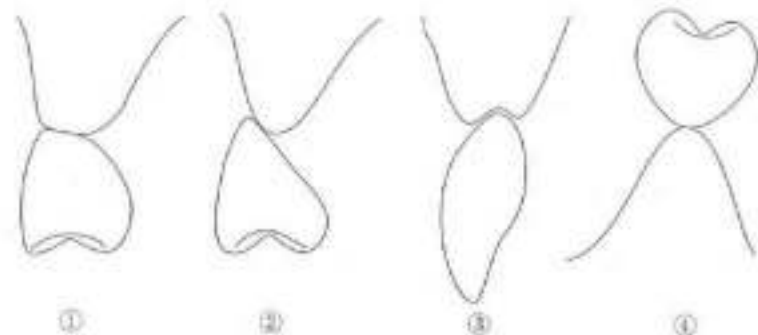
No. 7 A



B



【問題 46】 ガンテック基礎面形態を図に示す。



リッジラップ型はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科補綴学

解説

- a ①はリッジラップ型である。
- × b ②は偏側型である。
- × c ③はオベイト型である。
- × d ④は新歯型である。

正解 a

◎ 要典集 282:P39

【問題 47】 プロビジョナルレストレーションの目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯石の除去
- b う蝕の治療
- c 審美性の回復
- d 歯周環境の改善

▶ 歯科補綴学

解説

- × a 歯石の除去はスケーリングの目的である。
- × b, ○ c, ○ d プロビジョナルレストレーションは、形成後の支台歯を暫時的に被覆するク라운やブリッジのことである。最終補綴装置のためのよりよい環境や条件の準備をするためのもので、歯髄・歯質の保護に加え、歯周組織を健康に戻すなどの役割をもつ。

正解 c, d

【問題 48】 義歯床用材料として使用されているのはどれか。2つ選べ。

- a ポリアクリル酸
- b ポリカーボネート
- c ポリエーテルゴム
- d ポリメチルメタクリレート

▶ 歯科補綴学

知識既習

- × a ポリアクリル酸はガラスイオノマーセメントやカルボキシレートセメントの液成分に使用されている。
- b、○ d ポリカーボネート、ポリメチルメタクリレートは義歯床用材料として使用されている。
- × c ポリエーテルゴムはゴム製印象材に使用されている。

正解 b, d

【問題 49】 血友病 A の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 男性のみに発症
- b 第Ⅷ因子の欠乏
- c 全血凝固時間の短縮
- d 部分トロンボプラスチン時間の短縮

▶ 口腔外科学

知識既習

- a、○ b 血友病は内因系凝固因子の異常で、血友病 A (第Ⅷ因子欠乏)、血友病 B (第Ⅸ因子欠乏) がある。伴性劣性遺伝で男性のみに発症し、女性は保因者となる。
- × c、× d 全血凝固時間の延長と部分トロンボプラスチン時間の延長がみられる。

正解 a, b

【問題 50】 ペーチェット病でみられるのはどれか。

- a 蝶形紅斑
- b 慢性下疳
- c 再発性アフタ
- d ニコルスキー現象

▶ 口腔外科学

知識既習

- × a 蝶形紅斑は全身性エリテマトーデスでみられる顔面の症状である。
- × b 慢性下疳は梅毒でみられ、感染した部位の初期硬結の中心部が潰瘍に陥ったものである。
- c ペーチェット病の4徴候として、口腔内再発性アフタ、外陰部有痛性潰瘍、前房蓄膿性虹彩炎、網膜ブドウ膜炎、皮膚の結節性紅斑様皮膚疹がある。
- × d ニコルスキー現象は尋常性天疱瘡でみられる。

正解 c

【問題 51】 8歳の男児。舌下面の腫瘍を主訴として来院した。2か月前に母親が気付いたが、疼痛はないためそのままにしていたという。腫瘍は半球形で波動を触れる。圧痛はない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 8)を別に示す。

- 疑われるのはどれか。
- a 舌癌
- b ラヌーラ
- c エプーリス
- d ブランデンヌーン嚢胞

▶ 口腔外科学

知識既習

- × a 舌癌は口腔領域に発生する悪性腫瘍で最も多く、中高年以降の男性に多い。波動は触れず、舌縁部に好発する。
- × b ラヌーラ(ガマ腫)は口底部に発生する結核野留嚢胞である。
- × c エプーリスは歯肉に発生する腫瘍である。
- d 口腔内写真から、舌尖部下面のブランデンヌーン線から発生した粘液嚢胞(ブランデンヌーン嚢胞)である。小児に比較的多く発生する。治療法は外科的摘出であり、再発することがあるため、周辺部の腺組織を含めて摘出・切除する。

No. 8



正解 d

◎ 要点集 282:P66

【問題 52】 55歳の女性。口蓋部の着色を主訴として来院した。3か月前に着色に気付いたが、徐々に拡大しているという。視診により境界不明瞭な着色が認められるが、出血はみられない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 9)を別に示す。

- 疑われるのはどれか。
- a 悪性黒色腫
- b 褥瘡性潰瘍
- c 偽膜性カンジダ症
- d 特発性血小板減少性紫斑病

▶ 口腔外科学

知識既習

- a 口蓋部にみられる着色では、全身疾患の一部分症、母斑や悪性黒色腫の可能性がある。現病歴で徐々に拡大していることや、病理組織像で様々な大きさのメラノサイトが真皮に増殖し、大小様々な嚢果を形成していることから、悪性黒色腫が考えられる。
- × b 褥瘡性潰瘍は、義歯床縁や歯冠修復物による圧迫や摩擦などの慢性的な機械的刺激が、口腔粘膜の特定部位に加えられて生じる潰瘍である。
- × c 偽膜性カンジダ症は、点状の白苔が帯状に拡大し、易剥離性で剝離すると出血がみられる。
- × d 特発性血小板減少性紫斑病は、血小板の破壊が進行して血小板数が減少する疾患である。口腔粘膜の点状出血や口腔粘膜の血腫などがみられる。

No. 9



正解 a

◎ 要点集 282:P67

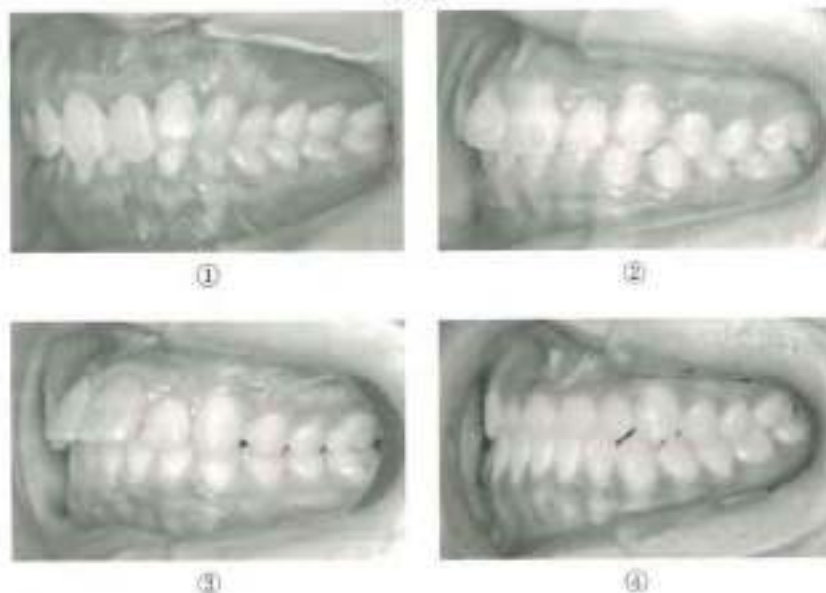
【問題 53】 咬頭咬合位の口腔内写真(別冊午後 No.10)を別に示す。

Angle II級2類不正咬合はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

No.10



選択肢考察

- a ①は Angle II級である。上顎前歯部の舌側傾斜もみられ、過蓋咬合であることから Angle II級2類不正咬合である。
- × b ②は Angle I級に近く、上顎前歯部も唇側傾斜傾向である。
- × c ③は Angle II級であるが、上顎前歯部が唇側傾斜傾向にあり、Angle II級1類不正咬合である。
- × d ④は典型的な Angle III級不正咬合である。

正解 a

① 要点集 282:P.46

【問題 54】 連続抜去法で抜去するのはどれか。2つ選べ。

- a 第一乳臼歯
- b 第二乳臼歯
- c 第一小臼歯
- d 第二小臼歯

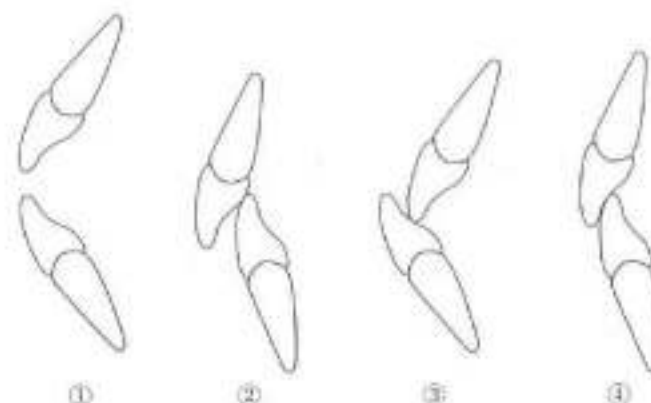
▶矯正歯科学

選択肢考察

- a, c 連続抜去法は、混合歯列期前において、永久歯の排列スペースの著しい不足が想定され、また顎骨の形態に問題がない場合、乳大歯、第一乳臼歯および第一小臼歯を計画的に抜去し、自然な排列を促すものである。

正解 a, c

【問題 55】 上下前歯咬合関係の模式図を示す。



マイナスのオーバーバイトはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a ①は間咬である。間咬状態はマイナスのオーバーバイトである。
- × b ②はオーバーバイトが大きい。オーバージェットはさほど大きくない。
- × c ③は前歯部の反対咬合である。上顎前歯に対し下顎前歯が前方に位置している場合をマイナスのオーバージェットという。
- × d オーバーバイトとは歯冠傾度、オーバージェットとは歯冠の水平傾度のことである。④はオーバージェット、オーバーバイトとも標準的である。

正解 a

【問題 56】 標準的な小児の心身発達で正しいのはどれか。

- a 2歳：理解語の数が急増する。
- b 3歳：2語文が話せるようになる。
- c 4歳：正しい語文構造の話ができる。
- d 5歳：情動の分化はほぼ成人と同程度に達する。

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a 幼児の語彙量の発達は3-4歳で理解語の数が急増する。
- × b 2語文が話せるようになるのは2歳である。3歳までに2語文が話せない場合は聴覚、知的能力障害、広汎性発達障害などを疑う。
- × c 3歳で正しい語文構造をもつ話ができるようになる。
- d 5歳頃に成人が持ち合わせる主要な情動の分化が完成する。

正解 d

① 要点集 282:P.52

【問題 57】 7歳の女児。正中継間を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.11)を別に示す。歯の動揺などは認めない。

正中継間の原因で考えられるのはどれか。

- a 咬唇癖
- b 歯肉炎
- c 咬合性外傷
- d 上唇小帯位置異常

▶小児歯科学

解説

- × a 咬唇癖は、上顎乳歯の舌側に下唇を咬み込みながら吸い込もうとする口腔習癖である。咬唇癖では、上顎乳歯前部の唇側傾斜、下顎乳歯前部の舌側傾斜や上顎前突がみられる。
- × b 歯肉炎による正中継間が生じることはない。
- × c 咬合性外傷は、早期接触や咬頭干渉などによってみられ、歯の動揺と歯根傾斜の拡大を特徴とする。
- d 正中継間の原因は、正中埋伏過剰歯か上唇小帯位置異常のどちらかの場合が多い。種に咬爪癖等の習癖による場合もある。診断は、上唇小帯が歯槽頂をこえて口蓋側まで及んでいるか、視診である程度可能である。その際、口唇を引いてみて貧血帯がどこにできるか確認(ブランチテスト)するとよい。

正解 d

No.11



① 要点集 282:P46

【問題 58】 乳歯根尖病巣が後継永久歯に与える影響はどれか。2つ選べ。

- a 位置異常
- b 歯冠腔狭窄
- c 象牙質形成異常
- d エナメル質形成不全

▶小児歯科学

解説

- a 乳歯の根尖病巣部が後継永久歯歯胚が回避しようと移動した結果、位置異常がみられることがある。
- × b 後継永久歯の歯冠腔に影響はみられない。
- × c 乳歯根尖病巣により、後継永久歯に象牙質形成異常がみられることはない。
- d 乳歯の根尖病巣により後継永久歯のエナメル質に形成不全を起こすことがある。これをターナー病という。

正解 a, d

【問題 59】 85歳の女性。歯痛を主訴として家族とともに来院した。全身状態を聴取したところ、半年前から手指の震えが出現し、次第に動作が緩慢になったという。3か月前から物忘れを自覚し、1か月前から誰もいないのに「知らない人がいる」と訴えるようになったという。

最も考えられる疾患はどれか。

- a パーキンソン病
- b レビー小体型認知症
- c 前頭側頭葉型認知症
- d アルツハイマー型認知症

▶障害者・高齢者歯科学

解説

- × a パーキンソン病でも手指の震えや動作緩慢がみられるが、幻視は生じない。
- b 他の認知症と比較して、レビー小体型認知症の特徴は幻視がみられることである。
- × c 前頭側頭葉型認知症では幻視は生じない。
- × d アルツハイマー型認知症では、幻視の症状はみられない。

正解 b

【問題 60】 ダウン症患者に多くみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 溝状舌
- b 著しい咬耗
- c 上顎の過成長
- d 乳歯の晩期残存

▶障害者・高齢者歯科学

解説

- a, ○ d, × c ダウン症候群の特徴的な口腔内所見として、溝状舌、乳歯の晩期残存、永久歯の先天欠如、短小歯、上顎骨の過成長、高口蓋、巨舌などがある。
- × b 著しい咬耗は脳性麻痺患者の口腔内所見である。

正解 a, d

① 要点集 282:P391

【問題 61】サルコペニアの診断に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 握力
- b 腹囲
- c 歩行速度
- d 血清アルブミン値

▶障害者・高齢者福祉科学

選択肢解説

- a サルコペニアは進行性、全身性に認める筋肉量の減少と筋力低下であり、身体機能障害、QOLの低下、死のリスクを伴うと定義されている。診断は身体動作(歩行速度)、筋力(握力)、筋肉量(超音波による測定)の3つで行われ、原因に応じてそれぞれにふさわしい治療が行われる。サルコペニアと低下障害には密接な関わりがあり、健康高齢者の低下機能低下を老衰と呼ぶ。その老衰の原因の1つは加齢による低下関連筋のサルコペニアといわれている。サルコペニアは筋力低下(握力:男性30kg未満、女性20kg未満)を認めた場合に診断される。
- × b サルコペニアの診断には腹囲は用いられない。腹囲が主に診断に用いられるのはメタボリックシンドロームである。
- c サルコペニアは身体機能低下(歩行速度:0.8m/s以下)を認めた場合に診断される。
- × d 血清アルブミン値は栄養状態の評価に用いられる。

正解 a, c

【問題 62】麻痺を有する人体の模式図を示す。+は麻痺部位である。



この麻痺はどれか。

- a 両麻痺
- b 対麻痺
- c 片麻痺
- d 単麻痺

▶障害者・高齢者福祉科学

選択肢解説

- × a 両麻痺は両下肢の麻痺が強く、上肢の麻痺が軽度な状態である。
- b 図は対麻痺である。対麻痺は、両下肢の麻痺はあるが、上肢には麻痺がない状態である。
- × c 片麻痺は左右一側のみの麻痺がある場合をいう。
- × d 単麻痺は、四肢のいずれか1か所だけに麻痺がある場合である。

正解 b

【問題 63】3歳児歯科健康診査において、事前に保護者に問診票を配布することとした。

適切な質問はどれか。2つ選べ。

- a 離乳食をはじめましたか。
- b いつも指しゃぶりをしていますか。
- c 仕上げ磨きをしてあげていますか。
- d 歯磨きの練習をはじめていますか。

▶歯科予防処置

選択肢解説

- × a 離乳食の開始に関する質問は生後6か月頃に行う。
- b 3歳頃は指しゃぶりが多く認められる時期であるため、悪習癖に関する問診は重要である。
- c 3歳頃は幼児だけでは歯磨きを十分にすることができないため、仕上げ磨きが必須であり、この時期において重要な問診事項である。
- × d 「歯磨きの練習をはじめていますか」という問診は2歳頃に行う。

正解 b, c

【問題 64】歯周組織における現在の炎症程度を評価するのに適しているのはどれか。

- a 歯周ポケット深さ
- b 歯槽骨の吸収程度
- c アタッチメントロス
- d ブローピング時の出血

▶歯科予防処置

選択肢解説

- × a 歯周ポケットの深さはブローピングから得られる情報で、歯肉辺縁からポケット底部までの距離を示す。深さが深いほど、歯肉腫脹やポケット底部の根尖側方向への移動が大きいことを示しており、炎症の状態は反映されない。
- × b 歯槽骨の吸収程度はエックス線写真で評価するが、現時点の歯槽骨の破壊の程度を評価するものであり、炎症程度は評価できない。
- × c アタッチメントロス(付着の喪失)は、ブローピングやエックス線写真で評価し、現時点での歯周組織の破壊の程度を評価するものである。炎症の状態は評価できない。
- d ブローピング時の出血(BOP)はポケット底部の炎症、組織抵抗性や歯周病の活動性を評価するものである。歯周組織の炎症状態の評価は、歯周病の診査・診断、再評価だけでなく、メンテナンス・SPT時の予後や再発の早期発見をする上でも非常に重要である。視診による歯肉の発赤・腫脹だけでなく、ブローピングによる出血によりポケット底部の炎症状態を把握する必要がある。

正解 d

DH19:P437

次の文を読み、[問題 65]、[問題 66] に答えよ。

52歳の男性。定期歯科検診のため来院した。6か月前に歯周治療が終了し、下顎臼歯部に固定性ブリッジを装着している。来院時の口腔内写真(別冊午後 No.12)を別に示す。

[問題 65] 歯科医師から次に示す検査の指示があった。

- ① BOP
- ② GI
- ③ PCR
- ④ PPD

適切な検査順序はどれか。

- a ④ → ① → ② → ③
- b ② → ③ → ④ → ①
- c ③ → ① → ② → ④
- d ① → ④ → ③ → ②

[問題 66] 検査終了後、歯科医師の指示により、ブリッジに対する清掃指導を行うこととなった。

補助的清掃器具と指導内容の組合せで適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 歯間ブラシ —— 隣接面の清掃
- b ラバーチップ —— 歯肉溝の清掃
- c タフトブラシ —— 歯肉マッサージ
- d スーパーフロス —— ボンティック基底部の清掃

▶ 歯科予防処置

No.12



選択肢考察

[問題 65]

- a 歯周治療のメンテナンス時には歯周組織の状況を把握した後、歯垢染色によるブラークコントロールレコード(PCR)を記録する。まず歯周ポケット深さの測定(PPD)を行い、その際の歯肉出血(BOP)を記録する。その結果を踏まえGIを算出する。その後、歯垢染色によるPCRを記録する。

[問題 66]

- a 歯間ブラシは、隣接面の清掃に適している。
- × b ラバーチップは、歯肉のマッサージを目的とした器具である。
- × c タフトブラシは、最後方臼歯の清掃や咬合面の清掃に適している。
- d スーパーフロスは、ボンティック基底面の清掃に適している。

正解 [問題 65] a  
[問題 66] a、d

[問題 67] ピンセットを用いて検査するのはどれか。

- a 歯髄の生死
- b 歯の動揺の大きさ
- c 隣接接触点の強さ
- d 歯周ポケット底部の形態

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯髄の生死は電気診や温度診で行う。
- b 歯の動揺の大きさは前歯部ではピンセットで把持して、臼歯部では閉じた状態で咬合面に押し当てて検査する。
- × c 隣接接触点の強さは、コンタクトゲージを用いて歯間離開度として検査する。
- × d 歯周ポケット底部の形態は、ポケットプローブをウォーキングストロークさせることで検査する。

正解 b

[問題 68] 深い骨縁下ポケットを有する部位の歯肉縁上スケーリング後に生じるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉退縮量の増加
- b 付着歯肉幅の増加
- c 結合組織性付着の増加
- d プロービングデプスの減少

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯肉縁上スケーリングを行うことで、歯肉腫脹が改善するため、歯肉退縮量は増加する。
- × b 付着歯肉幅は、遊離歯肉移植術、歯肉結合組織移植術、歯肉弁根尖側移動術といった歯周外科治療後に増加する。
- × c 結合組織性付着は、歯周組織再生療法後の新付着の獲得で増加する。
- d プロービングデプスは、歯肉辺縁からポケット底部までの距離である。歯肉腫脹が改善し、歯肉辺縁の位置が根尖側に移動するため、歯肉縁上スケーリングだけでもプロービングデプスは減少する。

正解 a、d

[問題 69] スケーリング時の写真(別冊午後 No.13)を別に示す。  
使用しているグレーシートタイプキュレットはどれか。

- a # 5/6
- b # 7/8
- c # 11/12
- d # 13/14

▶ 歯科予防処置

No.13



選択肢考察

- × a #5/6 は主に前歯部用である。
- × b #7/8 は主に頬舌側面用である。
- c #11/12 は主に白歯近心面用である。
- × d #13/14 は主に白歯遠心面用である。

正解 c

[問題 70] スケーリング中の基本姿勢で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 患者水平位で操作する。
- b 背中を曲げて操作する。
- c 術者のかかとをやや上げる。
- d 下顎操作時にヘッドレストを上げる。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 基本姿勢は患者**水平位**で操作することが前提である。
- × b 背中をまっすぐに伸ばし、肩の力を抜く。
- × c 術者の足裏は床に平らに付く状態が基本姿勢である。
- d 下顎操作時にはヘッドレストを上げ、患者の顎を引くように設定することで、基本姿勢を維持することができる。

正解 a, d

[問題 71] SPT(supportive periodontal therapy)を終了し、メンテナンスへ移行できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯周ポケットの深さ:3mm
- b プロービング時の出血:なし
- c 動揺度(Millerの判定基準):1度
- d 根分岐部病変(Lindheの分類):1度

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a、○ b 歯周ポケットが3mm以下であり、プロービング時の出血がなければ、歯周疾患が治癒したと判定できる。
- × c メンテナンスへ移行するには歯の動揺度は生理的範囲内(動揺度:0度)である必要がある。
- × d 根分岐部病変が残存している状態では、SPTを継続する。

正解 a, b

📖 要点集 272:P30

[問題 72] 低値でう蝕ハイリスクと判定するのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液分泌量
- b ショ糖摂取頻度
- c フッ化物応用頻度
- d プラーク細菌の酸産生量

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 唾液分泌量が少ないと、う蝕リスクが**高くなる**。
- × b ショ糖摂取頻度が少ないと、う蝕リスクが**低くなる**。
- c フッ化物応用頻度が少ない方がう蝕になり**やすい**。
- × d プラーク細菌の酸産生量が少なければ、う蝕リスクが**少ない**。

正解 a, c

【問題 73】 1歳10か月の男児。う蝕予防を希望して来院した。予防処置を行うために準備した器材の写真(別冊午後No.14)を別に示す。

この他に準備するのはどれか。

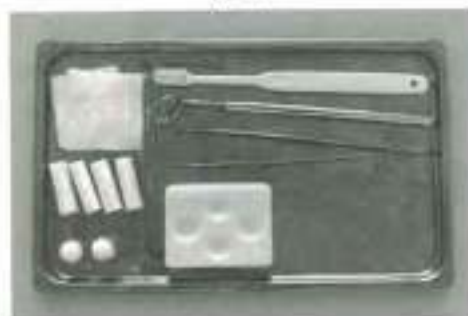
- a 予防充填材
- b フッ化物洗口剤
- c ポリッシングペースト
- d ゲル状フッ化物歯面塗布剤

▶ 歯科予防処置

選択肢考査

- × a 予防充填材の応用にはディオキシエチレンブラシは必要ない。
- × b フッ化物洗口剤の応用には小カップ(通常10mL)が用いられる。
- × c ポリッシングペーストの応用には、ロビンソンブラシやクーパーカップなどの回転清掃器具が必要である。
- d ボール綿による機易防湿法の後、ゲル状フッ化物歯面塗布剤を綿球または歯ブラシで塗布する。

No.14



正解 d

【問題 74】 う蝕の第二次予防はどれか。

- a 小窩裂溝充填
- b フッ化物歯面塗布
- c ブラークコントロール
- d フッ化ジアンミン銀塗布

▶ 歯科予防処置

選択肢考査

- × a、× b、× c 小窩裂溝充填、フッ化物歯面塗布、ブラークコントロールは明瞭な病変がみられない状態で行う第一次予防(特異的予防)に該当する。
- d 第二次予防は早期発見・早期処置、機能喪失の阻止が含まれる。う蝕に関してはフッ化ジアンミン銀塗布のほか、保存修復処置や歯内療法、歯冠治療、歯冠補綴処置などが該当する。フッ化ジアンミン銀塗布は初期脱灰部に行う第二次予防(早期発見・早期処置)である。

正解 d

【問題 75】 光重合型小窩裂溝充填法の基本術式を示す。ただし、水洗乾燥は含まない。

- ① 充填
- ② 酸処理
- ③ 光照射
- ④ 歯面清掃
- ⑤ 咬合調整
- ⑥ ラバーダム防湿

適切な順序はどれか。

- a ⑥→④→②→①→③→⑤
- b ②→⑥→④→①→⑤→③
- c ④→⑥→②→①→③→⑤
- d ⑥→②→①→③→⑤→④

▶ 歯科予防処置

選択肢考査

- a 光重合型小窩裂溝充填材を用いた小窩裂溝充填法の手順は、以下の通りである。  
ラバーダム防湿(⑥)→歯面清掃(④)→水洗・乾燥→酸処理・水洗・乾燥(②)→充填(①)→光照射(③)→未重合部の除去→ラバーダム除去→咬合調整(⑤)

正解 a



【問題 81】 長期服用で口腔カンジダ症の誘因となるのはどれか。

- a アスピリン
- b ピロカルピン
- c シクロスポリン
- d ワルファリンカリウム

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a アスピリンは非ステロイド性抗炎症薬であり、免疫抑制作用はない。
- × b ピロカルピン塩酸塩はムスカリン受容体作用薬で、唾液分泌促進薬として口腔乾燥症の治療薬として用いられる。
- c シクロスポリンは免疫抑制薬で、長期間の服用により口腔カンジダ症が発症することがある。口腔カンジダ症は、長期間の抗菌薬による菌交代現象や免疫力の低下が感染の要因となる。免疫抑制薬やステロイドの投与を受けている人に生じるほか、口腔や義歯の清掃不良、唾液分泌低下なども関連する。通常、高齢者や幼児に生じやすいが、AIDSなどの免疫機能の低下でもみられる。
- × d ワルファリンカリウムは抗凝固薬であり、免疫抑制作用はない。

正解 c

📖 要点集 281:P38

【問題 82】 80歳の女性。1人で歯科医院に徒歩で来院したが、介護支援専門員からの情報提供によると食事の準備が困難になっているという。

この生活動作に関する情報から、歯科診療にあたって留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 服薬管理
- b 口腔衛生指導
- c 歯科医院内の歩行
- d 歯科ユニットでの座位保持

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 患者は1人で歩いてきたが食事支援が困難である点において、手段的日常動作 (IADL) が低下していると考えられる。服薬管理は、手段的日常動作 (IADL) であるため留意する。
- b 高齢者に対する口腔衛生指導は必ず留意すべき点である。
- × c 1人で歯科医院に徒歩で来院したため、歩行については問題ない。
- × d 1人で歯科医院に徒歩で来院したため、座位保持については問題ないと考えられる。

正解 a, b

【問題 83】 1歳の女児。上顎乳前歯部の歯肉の腫れを主訴として来院した。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.15) を別に示す。

口腔清掃指導として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 寝かせ磨き
- b 歯磨剤の使用
- c ガーゼによる清拭
- d 歯垢染め出し液の使用

▶ 歯科保健指導

No.15



選択肢考察

- a、○ c 萌出後間もない上顎乳前歯部歯肉の腫脹を主訴としていることから、萌出性歯肉炎と口腔清掃不良によるデンタルプラークによって生じた歯肉炎の両方が原因であると考えられる。対応としては、適切な口腔清掃法を指導することが重要で、寝かせ磨きでよく歯を見ながら磨くこと、歯ブラシの使用を嫌がる場合はガーゼによる清拭を行うことなどが指導項目である。寝かせ磨きは口腔内が見やすいため、口腔清掃が容易になる。
- × b 歯磨剤の使用はフッ素の効果でう蝕予防に効果があるが、デンタルプラークの除去にはブラッシングなどの物理的なプラークコントロールの方が有効である。
- × d 歯垢染め出し液は清掃不良の部位を示して、特定の部位の清掃指導を行うものであり、本症例のように現在歯が少ない場合、効果は限定的である。

正解 a, c

【問題 84】 放射線治療後に発症する急性期の口腔有害事象はどれか。2つ選べ。

- a 口腔粘膜炎
- b 口腔乾燥症
- c 放射線性う蝕
- d 放射線性顎骨壊死

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、○ b 急性期とは放射線治療中から数か月に出現するものをいう。口腔粘膜炎や口腔乾燥症、味覚異常は急性期にみられる口腔有害事象である。
- × c、× d 慢性期とは放射線治療後半年以降に出現するものをいう。放射線性う蝕や放射線性顎骨壊死、組織癒痕形成は慢性期にみられる口腔有害事象である。

正解 a, b

【問題 85】 ADL (日常生活動作) に含まれる項目はどれか。

- a 家事
- b 洗濯
- c 歯磨き
- d 買い物

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b、× d 家事、洗濯、買い物は IADL (手段の日常生活動作) であり、ADL より複雑で高次の動作である。
- c 歯磨きは整容に入り、ADL に含まれる項目である。

正解 c

DH19:P597

【問題 86】 国が有効性や安全性を個別に審査し許可した食品はどれか。

- a 栄養機能食品
- b 特定保健用食品
- c 機能性表示食品
- d いわゆる健康食品

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 栄養成分 (ビタミン・ミネラル) の補給のために利用される食品で、栄養成分の機能を表示するものをいう。栄養機能食品として販売するためには、一日当たりの摂取目安量に含まれる当該栄養成分量が定められた上・下限値の範囲内にある必要があるほか、栄養機能表示だけでなく注意喚起表示等も表示する必要がある。規格基準に適合すれば国等への許可申請や届出の必要はない。
- b 特定保健用食品 (条件付き特定保健用食品を含む) は、食品の持つ特定の保健の用途を表示して販売される食品である。特定保健用食品として販売するためには、製品ごとに食品の有効性や安全性について審査を受け、表示について国 (消費者庁) の許可を受ける必要がある。特定保健用食品及び条件付き特定保健用食品には、消費者庁の許可マークが付されている。
- × c 事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品で、販売前に安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届け出られたものである。ただし、特定保健用食品とは異なり、消費者庁長官の個別の許可を受けたものではない。
- × d いわゆる健康食品とは、国が保健効果や健康効果などの表示を許可していない製品をさしている。機能性の表示ができないサプリメントなどは一般食品に分類される。

正解 b

DH19:P549

【問題 87】 入院医療と比較した在宅医療の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 延命を目標とする。
- b QOL の拡大を重視する。
- c 療養期間は比較的短期間である。
- d 周囲との人間関係が重視される。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、○ b 入院医療では治療と延命を目標とするが、在宅医療では QOL の拡大や自然な死を目標とする。
- × c 在宅医療では、療養期間は長期間となる。
- d 病院での医療は主に「治す医療」であるが、在宅医療は「支える医療」である。本人、家族と一体となって、生活や生き方について考えていくことが重要である。

正解 b、d

【問題 88】 高齢者の栄養評価で用いられる SGA (主観的包括的アセスメント) で利用される指標はどれか。

- a 体重変化
- b 総蛋白量
- c Body Mass Index
- d 血清アルブミン値

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 主観的包括的アセスメント (SGA) は外来診察で入手可能な簡単な情報のみで、栄養障害、創傷の治癒遅延や感染症などのリスクのある患者を正確に予測できる。SGA で用いられる情報は、問診や身長、体重測定で利用される指標をはじめとする簡単な身体計測によって得られるものである。

正解 a

【要点】

● SGA で利用される指標

- ① 年齢、性別
- ② 身長、体重変化
- ③ 食物摂取状況の変化
- ④ 消化器症状
- ⑤ ADL (日常生活活動強度)
- ⑥ 疾患と栄養必要量との関係

【問題 89】 3歳児の子どもをもつ保護者20名を対象に食育についての講話を依頼された。適切な講話内容はどれか。2つ選べ。

- a 食具の使い方を知る。
- b 食事のマナーを知る。
- c 食べたい意欲を育てる。
- d 手づかみ食べを経験させる。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、○ b 3歳児になると、運動面や言語面での成長は著しく、基本的な生活習慣を体得する。また、自分と安心できる大人との関係から仲間関係を中心とした生活に変わっていき、子ども同士で意思の疎通ができるようになり、友だちと食べることを楽しみ、その中からマナーの大切さを知る時期である。指先を使った微細運動も上手になり、箸の使い方なども理解していく。3歳児は、自立心を育てるためにも、食事に必要な基本的な習慣や態度をゆっくり育てるよう心がける。
- × c 食べたい意欲は離乳期に育む。
- × d 1歳児は運動機能が発達し、自分の意思でやりたいという気持ち(意欲)がみられ、手づかみ食べ(自分で食べる行為)を行うことで、「自分でやりたい・できた」と意欲や行為が形成されていく。

正解 a、b

【問題 90】 8歳の男児。う蝕治療を希望して来院した。男児は自閉スペクトラム症と診断されている。治療時の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 代用語を用いる。
- b 視覚媒体を用いる。
- c 治療手順をパターン化する。
- d 非言語的コミュニケーションを用いる。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 8歳児であり、代用語を用いる必要はない。
- b、○ c TEACCHには視覚媒体、具体的には絵や文字、写真を使ったカードや実物を提示し、トレーニング、歯磨きの仕方、治療手順などを伝える。自閉スペクトラム障害児は、これから行われることに不安を抱くことが多く、治療手順を説明、パターン化することで治療の見通しがもてるようになる。
- × d 術者の話がある程度理解はできるため、非言語的コミュニケーションを用いる必要はない。

正解 b、c

DH19:P701

【参考】

自閉性障害とアスペルガー障害をまとめて自閉スペクトラム症という。自閉性障害の人では会話が困難などのコミュニケーション障害があり、また極端に得意なことと苦手なことがある。さらに奇声、パニック、自傷行為などの問題を有することがあり、他人の心の動きを類推したり、場の雰囲気を読み取ることが難しく、対人関係で問題を生じやすい。自閉スペクトラム症に対する行動調整法にTEACCHプログラムがある。TEACCHは、言葉を媒介したコミュニケーションが困難な自閉症のために考案され、自閉スペクトラム症は視覚優位であることから、情報を目で見える形で整理して伝えるものである。

【問題 91】 88歳の女性。10年前に脳梗塞を発症し、現在は片麻痺があり要介護である。不随意運動がみられ、咀嚼と飲み込みが難しいという。家族から食事介助について相談があった。家族への助言で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 食事は座位でとると誤嚥しにくいです。
- b 頭部の位置を固定してあげると安定します。
- c 麻痺側からスプーンを近づけると食べやすいです。
- d 食塊としてまとまりやすい食材を選択してください。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 誤嚥を防ぐため、座位やファーラー位(上半身を約45度起こした体位)でとらせる。
- × b 不随意運動がある場合は誤嚥の危険性が高く、経鼻経管栄養や胃瘻から栄養摂取させる場合もある。また、無理に頭部の位置を固定すると他の部位に不随意運動が生じるため、固定は行わない。
- × c 麻痺側からの摂食では食物の取りこぼしが多いため、健側から近づける。
- d 食塊としてまとまりやすい食材を選択することで、誤嚥や窒息、低栄養を防止する。

正解 a、d

【問題 92】 リハビリテーションで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 三次予防に該当する。
- b 疾病の治療を主目的とする。
- c 自立が期待できる患者を優先する。
- d 発症早期からの開始が効果的である。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a リハビリテーションとは、身体的、精神的、社会的な障害をもつ人の、機能、能力、社会生活の全人格的回復や促進を目的とする、専門技術による支援である。一般的に、骨折などの回復段階における、身体機能回復のための作業療法や理学療法による医学的リハビリテーションを指すことが多いが、他に教育的、職業的、社会的リハビリテーションの分野がある。リハビリテーションは三次予防に該当する。
- × b リハビリテーションは障害の軽減を目的とする。このため「完全に元の状態に戻すこと」を最終目的にするのではなく、「その人に合った生活に近づけるための治療やトレーニング全般」がリハビリテーションの目的とされる。
- × c 患者の状況に関係なく行われるべきである。
- d 発症等から早い時期に、主として医療機関において、心身の機能回復を主眼としたリハビリテーションを実施することが効果的で望ましい。早期リハビリテーションは回復期以後の障害改善の期間や程度に大きく影響するとされる。

正解 a、d

【問題 93】 摂食嚥下障害に伴う機能低下と訓練の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 開口量減少 ———— アイスマッサージ  
 b 舌筋力低下 ———— 舌抵抗訓練  
 c 食塊移送能低下 ———— 息こらえ嚥下  
 d 喉頭挙上能低下 ———— 頭部挙上訓練

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 開口量の減少にはアイスマッサージではなく、**開口訓練**を行う。  
 ○ b 舌筋力低下には**舌抵抗訓練**を行う。  
 × c 食塊移送能の低下には息こらえ嚥下は行わない。息こらえ嚥下とは嚥下前に意識的に声門を封鎖することで、嚥下中の誤嚥を防ぎ、声門上に侵入した飲食物を咯出する方法である。  
 ○ d 喉頭挙上能低下には**頭部挙上訓練**（シャキア法）が行われる。喉頭挙上に関わる舌骨上筋群などを鍛えることにより、喉頭の前上方移動を改善し、その結果、**食道入口部の開大**も図れるという利点もある。

正解 b, d

【要点】

摂食嚥下障害に対する訓練は間接訓練と直接訓練に分けることができ、間接訓練は食物を用いないで行う訓練であり、間接訓練を行うことで嚥下関連器官の機能や協調性を改善し、嚥下機能の向上をはかることができる。一方、直接訓練は実際に食物を使用することで、食物への認識、咀嚼、嚥下機能の改善を目指す訓練である。つまり、間接訓練は基礎的なトレーニングであり、直接訓練は実践的な練習である。

【問題 94】 48歳の男性。食事摂取の困難を主訴として来院した。脳性麻痺の既往があり、自立歩行はできない。ある訓練を実施することになった。訓練時の写真（別冊午後 No.16）を別に示す。

改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 舌圧  
 b 嚥下反射  
 c 口唇閉鎖機能  
 d 鼻咽腔閉鎖機能

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 巻き笛では舌圧の改善は期待できない。舌圧の改善が期待できるのは**舌訓練**である。  
 × b 摂食嚥下の改善は期待できるが、この訓練では嚥下反射の改善は期待できない。  
 ○ c 巻き笛によって主に口輪筋の緊張や運動能を向上させることにより、**口唇閉鎖機能**を獲得、あるいは再獲得することを目的とする。  
 ○ d 巻き笛により口唇閉鎖機能を改善し、誤嚥の予防をすることにより、**鼻咽腔閉鎖機能**の改善も期待できると考察できる。

正解 c, d

No.16



【問題 95】 87歳の男性。食事摂取方法の改善を主訴として老人ホームから訪問歯科診療の依頼があった。食事のペースが速く、主食（主にお粥）、副菜（トロミつき刻み食）とも掻き込んでしまい、しばしばむせもみられる。また、トロミつきの汁物とお茶はいつも最後に摂取するという。認知症はあるが他に特記すべき疾患はなく、頸部聴診法により、安静時、嚥下後の呼吸音、嚥下音も特に異常はみられなかった。

この患者に対する適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 早期の精密検査を勧める。  
 b 食事形態をソフト食にする。  
 c 水分との交互嚥下を勧める。  
 d 食事を小分けにして提供する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a まずは再度頸部触診を行い、必要によってスクリーニング検査、精密検査に移行するのがふさわしい。  
 × b むせが長期に渡って続く場合、精密検査で誤嚥、咽頭残留が認められる場合は食事形態を下げることも考えられるが、食事形態を下げることで患者の食欲が失われる可能性があり、安易に食事形態を下げることは推奨できない。  
 ○ c 水分との交互嚥下を行うことで、食事の溜め込み、誤嚥、咽頭残留のリスクが軽減できる。  
 ○ d 食事を小分けにして提供することで、掻き込みを防ぎ、結果として窒息のリスクを軽減できる。

正解 c, d

【問題 96】 臨床検査項目と検査値の組合せで糖尿病が疑われるのはどれか。2つ選べ。

- a HbA1c ———— 6.5%以上  
 b ケトン体 ———— 陽性  
 c 空腹時血糖 ———— 110 mg/dL以上  
 d 還元型ヘモグロビン ———— 5 g/dL以上

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a HbA1c が 6.5% 以上で糖尿病型と判定される。  
 ○ b コントロール不良の糖尿病患者では創傷の治癒が遅れ、術後感染の危険性が高くなるため、観血処置の際は注意が必要である。糖尿病患者は、尿検査においてケトン体が陽性となる。  
 × c 空腹時血糖が 130 mg/dL 以上で糖尿病が疑われる。  
 × d 還元型ヘモグロビンが 5 g/dL 以上でチアノーゼとなる。

正解 a, b

【問題 97】 医療過誤はどれか。

- a 診療の場でヒヤリとしたりハッとした経験
- b 医療に関わる場所で発生するすべての人身事故
- c 注射針の誤刺により医療従事者に被害が生じた場合
- d 医療的準則に違反して患者に被害を発生させた行為

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 診療の場でヒヤリとしたりハッとした経験は、ヒヤリ・ハット事例である。患者に被害を及ぼすことはなかったが、日常診療の現場で、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験を有する事例である。具体的には、ある医療行為が、(1) 患者には実施されなかったが、仮に実施されたとすれば、何らかの被害が予測される場合、(2) 患者には実施されたが、結果的に被害がなく、またその後の観察も不要であった場合等を指す。
- × b 医療に関わる場所で発生するすべての人身事故は、**医療事故**である。なお、医療従事者の過誤、過失の有無を問わない。また不可抗力も含まれる。
- × c 注射針の誤刺により医療従事者に被害が生じた場合は、患者についてだけでなく、注射針の誤刺のように、医療従事者に被害が生じた場合も**医療事故**である。医療従事者の過誤が存在しても患者に被害がない場合は医療過誤とはならない。
- d 医療的準則に違反して患者に被害を発生させた行為は、医療事故の一類型であって、医療従事者が、医療の遂行において、医療的準則に違反して患者に被害を発生させた行為を医療過誤という。

正解 d

【問題 98】 HBV を不活化する目的で使用するのはどれか。

- a 10%ポビドンヨード
- b 1%クロルヘキシジン
- c 1%次亜塩素酸ナトリウム
- d 1%塩化ベンザルコニウム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 10%ポビドンヨードはHBVにほとんど効果がなく、手指や術野の消毒に用いられる。
- × b 1%クロルヘキシジンはHBVに効果がなく、0.1~0.5%で用いられ手指や器具の消毒などに用いられる。
- c 1%次亜塩素酸ナトリウムはHBVに効果がある。
- × d 1%塩化ベンザルコニウムはHBVに効果がなく、0.05%~0.1%で用いられ手指や器具の消毒などに用いられる。

正解 c

📖 要点集 281:P66

【参考】

消毒法は、すべての菌に有効なのは0.3%過酢酸(30分)、2%グルタルアルデヒド(3時間)、35~38%ホルムアルデヒド水溶液(ホルマリン)、1%次亜塩素酸ナトリウムであり、HBV・芽胞形成菌以外に有効なのは10%ポビドンヨード、70%エタノールである。またHIV・HBV・芽胞形成菌以外に有効なのは1~2%クレゾール石けん液、3~5%フェノールであり、一般細菌やMRSAのみに有効なのは0.1%塩化ベンザルコニウム、過酸化水素水、1%クロルヘキシジンである。

【問題 99】 精密印象に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 寒天
- b アルジネート
- c 酸化亜鉛ユージノール
- d モデリングコンパウンド

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 寒天はインレー窩洞や支台歯の**精密**印象に用いる。
- × b アルジネートは**概形**印象に用いる。
- c 酸化亜鉛ユージノールは**無歯顎**の精密印象に用いる。
- × d モデリングコンパウンドは**無歯顎**の概形印象に用いる。

正解 a, c

【問題 100】 2級コンポジットレジン修復に用いる器具にマトリックスを装着した写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

適用される歯(FDI歯式)はどれか。2つ選べ。

- a 15
- b 25
- c 35
- d 45

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a, c 写真の器具はトッフルマイヤーの**マトリックスリテーナー**である。トッフルマイヤーのマトリックスリテーナーは隣接面を含む窩洞を成形材料で修復する際に用いる器具である。先端にループ状のステンレスマトリックスをネジで(写真の右端)固定し、マトリックスを支台歯に巻きつけ固定する。リテーナーは歯列の頬側から操作するため、写真のようにマトリックスを巻いた場合には、**上顎右側白歯部と下顎左側白歯部**に用いることができる。



No.17

正解 a, c

📖 要点集 282:P14

[問題 101] 修復処置に用いる器材の写真(別冊午後 No.18)を別に示す。  
使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 隔壁の固定
- b 修復物の賦形
- c 歯間乳頭の保護
- d 遊離エナメル質の保護

▶ 歯科診療補助

No. 18



選択肢考察

- a、○ c 写真はくさび(ウェッジ)である。くさびは主に歯間分離に用いられ、その結果、隣接歯の隣接面や歯間乳頭を切削器具による傷害から保護するなどの効果が期待できる。また、マトリックスバンドなどの固定にも応用することができる。
- × b 修復物の賦形にはマトリックスを用いる。
- × d 遊離エナメル質の保護にくさびは用いられない。

正解 a、c

📖 要点集 282:P14

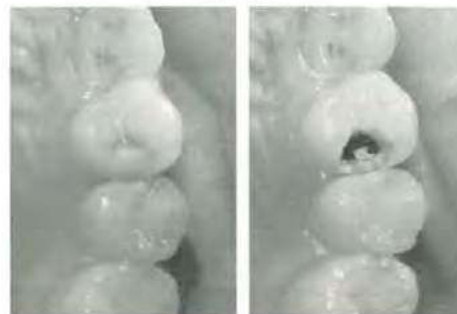
[問題 102] 25歳の女性。上顎左側第一小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。検査の結果、コンポジットレジン修復を行うことになった。初診時と修復物除去後の口腔内写真(別冊午後 No.19 A)及び切削器具の写真(別冊午後 No.19 B)を別に示す。

次に用いる切削器具はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No. 19 A



B



① ② ③ ④

選択肢考察

- × a ①はタングステンカーバイドバーである。金属補綴物の除去や箱型窩洞の形成に用いる。
- × b ②はテーパードシリンドラダイヤモンドポイントである。外開き窩洞の形成に用いる。
- × c ③は球状ダイヤモンドポイントである。う窩の開拡大などに用いる。
- d ④はコントラアングルハンドピースに装着するスチール製ラウンドバーである。う蝕象牙質の除去に用いる。

正解 d

【要点】

上顎左側第一小臼歯遠心にコンポジットレジンが填塞されており、修復物周囲の歯質に軽度の変色がみられる。修復物除去後に露出した象牙質には強い変色がみられ、この部位に二次う蝕または再発う蝕が発症している。

う蝕象牙質を除去するためには、スチール製のラウンドバーを用い、う蝕検知液に染色された歯質のみを削除する。これによって、う蝕感染象牙質が除去される。歯質の硬さを感じにくい高速切削器具や、う蝕象牙質に比較して硬度の高いダイヤモンドポイントやタングステンカーバイドバーを用いてはならない。

【問題 103】 ワックスと用途との組合せで正しいのはどれか。

- a シートワックス ————— トレーの調整
- b パラフィンワックス ————— 基礎床
- c スティッキーワックス ————— 咬合採得
- d ユーティリティーワックス ——— インレーワックスパターン

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a シートワックスは鑄造金属床の製作に使用される。
- b パラフィンワックスは、義歯作製時の基礎床に用いられる。
- × c スティッキーワックスは補綴装置のろう付け時の固定や、破折義歯の修理時の仮着などに用いられる。
- × d ユーティリティーワックスは、印象用トレーの周縁の修正などに用いられる。インレーの鑄造用原型材ワックスパターンには、インレーワックスを用いる。

正解 b

【問題 104】 露髄の危険性のある幼若永久歯う蝕の処置と用いる薬剤の組合せで適切なのはどれか。

- a IPC 法 ————— 水酸化カルシウム
- b 直接覆髄法 ————— タンニンフッ化物
- c 麻酔抜髄法 ————— リドカイン
- d 生活歯髄切断法 ——— フェノールカンフル

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a IPC 法(暫間的間接覆髄法)は、露髄しそうな部分に薬剤を貼付し、直下の髄腔壁に補綴象牙質の新生添加を促して、歯髄の正常な生活力と機能を回復するために行う歯髄の保存療法である。水酸化カルシウム製剤を用いる。
- × b 直接覆髄法はすでに露髄があり、かつ臨床的に歯髄に炎症などの病変が認められない場合、覆髄剤で露髄面を直接覆う方法である。生活歯髄を保護しつつ、二次象牙質の形成を促し、露髄面を閉鎖することを目的とする。タンニンフッ化物は間接露髄法に用いる。
- × c 麻酔抜髄法を行ってしまうと幼若永久歯の歯根の完成は望めなくなってしまうため適切ではない。
- × d 生活歯髄切断法が用いられるのは窩洞形成時の偶発的な大きな露髄や露髄時の感染、冠部歯髄損傷のある場合である。フェノールカンフルは歯髄鎮痛消炎療法に用いる。

正解 a

📖 要点集 282:P5~7

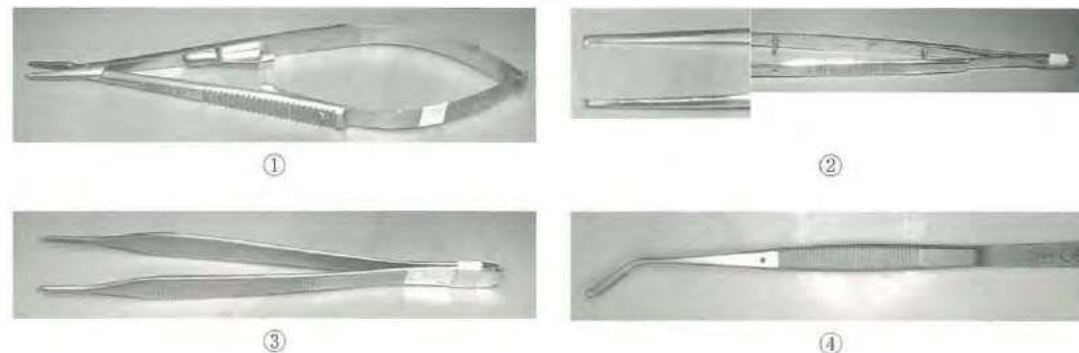
【問題 105】 歯周治療に使用する器具の写真(別冊午後 No.20)を別に示す。

GTR 法で縫合に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.20



選択肢考察

- a ①は持針器である。縫合時に使用する。
- × b ②は有鉤ピンセットである。
- c ③は無鉤ピンセットである。縫合時などに軟組織を把持する。
- × d ④はコーンのプライヤーで遮断膜の把持に使用する。先端の穴に針を通すことで膜を把持しながら容易に縫合を行うことができる。

正解 a, c

【問題 106】 歯科材料の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

この材料の調整に用いるのはどれか。

- a ホウプライヤー
- b バンドプッシャー
- c ゴードンプライヤー
- d アーチフォーミングタレット

▶ 歯科診療補助

No.21



選択肢考察

- × a ホウプライヤーは、主にワイヤーの結紮、主線の着脱適合、バンドの適合、ロックピンの保持に用いる。
- × b バンドプッシャーは、バンドを歯に合わせる(バンドを圧入する)ための器具である。
- c ゴードンのプライヤーは乳歯用既製冠の調整に用いられる。
- × d アーチフォーミングタレット(アーチフォーマー)は、エッジワイズ装置に使用する角線のアーチワイヤーを作製するためのものである。

正解 c

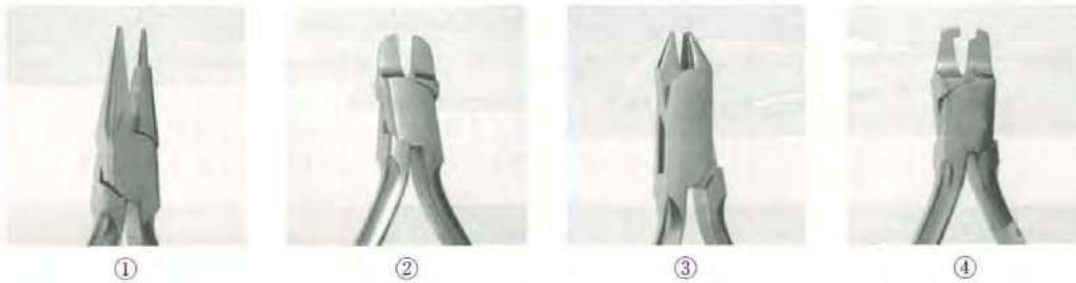
📖 要点集 282:P60

【問題 107】 矯正用プライヤーの写真(別冊午後 No.22)を別に示す。  
角線の屈曲に用いるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.22



選択肢考察

- × a ①はジャラバックプライヤー(ライトワイヤー法)で、ラウンドワイヤー(丸線)の屈曲に用いる。
- b ②はツイードアーチベンディングプライヤーであり、主に角線の屈曲に用いられる。
- × c ③はスリージョーワイヤーベンディングプライヤーであり、0.6mm以上の太い丸線の屈曲に用いられる。
- × d ④はバンドマージンコンタリングプライヤーであり、バンドの辺縁を調整し歯に適合するために用いられる。

正解 b

📖 要点集 282:P51

【問題 108】 ある検査の画像(別冊午後 No.23)を別に示す。この検査法の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 訪問診療で実施できる。
- b 嚥下の瞬間を確認できる。
- c 造影剤を誤嚥する可能性がある。
- d 摂食嚥下障害のスクリーニング検査に用いる。

▶ 歯科診療補助

No.23



選択肢考察

- × a 訪問診療では嚥下造影を実施することはできない。嚥下内視鏡検査(VE)は実施することができる。
- b 画像は嚥下造影検査(VF)である。嚥下造影では嚥下の瞬間を確認できる。一方、嚥下内視鏡検査は嚥下の瞬間を確認できない(ホワイトアウト)。
- c 摂食嚥下機能が低下した患者の場合、嚥下造影によって造影剤を誤嚥してしまう可能性がある。
- × d 嚥下造影は摂食嚥下障害の精密検査として用いられる。

正解 b, c

📖 DH19:P632

【問題 109】 器具の写真(別冊午後 No.24)を別に示す。  
この器具の使用目的はどれか。

- a 開口
- b 喉頭展開
- c 埋伏抜歯
- d 吸入鎮静

▶ 歯科診療補助

No.24



選択肢考察

- b 写真の器具は喉頭鏡である。全身麻酔の気管挿管時において、喉頭展開して喉頭を直視するために用いる器具である。喉頭展開は、患者の頭部を軽く後屈し下顎を挙上させ、喉頭鏡を口腔内に挿入し、喉頭蓋がみえたら、ブレードの先端を喉頭蓋谷に進める。ブレード全体をハンドルの長軸方向に平行移動させ(ブレード部分を面で押す)、喉頭を直視する。



正解 b

【問題 110】 昏倒した患者に AED を装着した。  
除細動を行う指示が出た後にまず行うべきなのはどれか。

- a 呼吸を確認する。
- b 頸動脈を触知する。
- c 人工呼吸を続ける。
- d 患者に触れないようにする。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 呼吸を確認するのは、胸骨圧迫前である。
- × b 頸動脈を触知するのは、胸骨圧迫前である。
- × c 感電するため、人工呼吸を続けてはならない。
- d AED が到着したら、胸骨圧迫や人工呼吸を中断せずに AED の電源を入れ、電極パッドを患者の右鎖骨下胸部と左腋窩から 5~8cm 下のところに貼る。次に、心電図リズムの解析により「ショックが必要です。」という音声が出たら、救助者を離れさせ、安全確認後、ショックボタンを押す。通電後はすぐに胸骨圧迫を開始し、次の音声指示が出るまで継続する。AED のショックボタンを押す前に安全確認を行い、救助者が患者に触れないようにする。

正解 d

📖 要点集 282:P74